令　和　5　年　度　決　算

主　要　施　策　成　果　報　告　書

第七次鳴門市総合計画 実施計画

令和５年(2023年)度－令和７年(2025年)度

実績 兼 評価シート まとめ

鳴　　門　　市

目　次

1．主要施策成果報告書及び第七次鳴門市総合計画実施計画における令和５年度実績及び令和５年度実績及び令和６年度行政評価について

（１）主要施策成果報告書 ・・・・・・・・・・・・ 3

（２）鳴門市総合計画実施計画 令和５年度実績 ・・・・・・・・・・・・ 3

（３）令和６年度　鳴門市行政評価 ・・・・・・・・・・・・ 4

（４）総合計画体系図 ・・・・・・・・・・・・ 5

2．令和５年度決算の概要

（１）各会計の決算額の状況 ・・・・・・・・・・・・ 6

（２）普通会計決算の概要 ・・・・・・・・・・・・ 7

① 普通会計決算規模等 ・・・・・・・・・・・・ 7

② 各種財政指標の推移 ・・・・・・・・・・・・ 10

【参考】入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧 ・・・・・・ 11

3．実施計画兼評価シート

（１）実施計画兼評価シートの見方 ・・・・・・・・・・・・ 12

（２）掲載事業一覧表 ・・・・・・・・・・・・ 14

（３）各実施計画兼評価シート ・・・・・・・・・・・・ 16

基本目標１　豊かな人を育むまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 16

基本目標２　持続発展可能なまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 36

基本目標３　安全安心のまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 58

基本目標４　誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり ・・・ 68

基本目標５　活力あふれるまちづくり ・・・・・・・・・・・・ 82

基本目標６　みんなで創る自立したまちづくり ・・・・・・・・ 94

１.主要施策成果報告書及び第七次鳴門市総合計画実施計画における令和５年度実績及び令和６年度行政評価について

（１）主要施策成果報告書

地方自治法第２３３条第５項に基づき、「決算に係る主要施策の成果報告書」を議会に提出するものである。主要施策の個別事業は、本市の最上位計画である第七次鳴門市総合計画に基づき、令和５年度末時点における実績や進捗状況、今後の方向性等を明示し、従来の成果報告の内容に、PDCAサイクルの考え方を踏まえ、進捗管理の要素を加えた総合計画実施計画兼評価シートとして取りまとめたものである。

（２）鳴門市総合計画実施計画　令和５年度実績

本市では、第七次鳴門市総合計画に基づき、計画的かつ効率的な行財政運営を進めるため、具体的施策・事業を示した実施計画を策定している。実施計画の進捗状況を把握し、必要に応じ所要の見直しを行うため、総合計画実施計画兼評価シートにより令和５年度末時点の進捗状況をまとめたものである。

◆推進体制

①事務事業担当部署による内部評価
　事業担当課による総合計画実施計画兼評価シートの作成。
②総合計画策定委員会による内部評価
　総合計画実施計画兼評価シートを策定委員会において審議し、内部評価の最終決定とする。
③総合計画審議会による外部評価
　策定委員会を経た後、総合計画審議会において外部の視点からの評価を受ける。
④市議会への報告による外部評価
　市議会において外部評価を受ける。
⑤最終的な評価の決定
　策定委員会及び総合計画審議会等の結果をもとに、評価の決定を行う。

（３）令和６年度　鳴門市行政評価

◆ねらい

継続的な点検評価サイクルを確立し、成果主義の考え方に基づき行政活動の課題や問題点を明確化し、今後の改善策を打ち出すとともに、評価結果を市民に公表することにより、市民ニーズの市政への反映につなげる。

＜鳴門市行政評価の4つのねらい＞
①市民の視点に立ち、成果を重視した行政運営
②市民への説明責任を果たすことによる行政運営の透明性の向上
③事業の効果的で効率的な執行
④職員の意識改革による政策形成能力の向上

◆令和６年度実施方針

① 公正の確保と透明性向上のため、市民との情報の共有化を推進する。
② 鳴門市自治基本条例第２５条に定める行政評価結果を予算編成に反映させる。
③ 市民にとって分かりやすく、シンプルな行政評価を実施する。
ⅰ 評価の対象：事務事業
ⅱ 評価の機関：内部
ⅲ 評価の時期：令和５年度に実施した事務事業に対する事後評価

◆評価対象となる事務事業

令和５年度総合計画実施計画に掲載されている事務事業　　４４事業

◆令和７年度の予算及び事業の推進との関係

行政評価結果については、令和７年度の予算編成及びその事業の推進に反映する。

◆評価結果の公表

市議会及び市公式ウェブサイト等にて公表する。

（4） 総合計画体系図

将来都市像

ひとが輝き　持続可能な未来をひらく　あらたな なると

基本目標	基本方針	主要施策
基本目標 1 豊かな人を育むまちづくり	1 子育てしやすいまちづくり	①出会いから結婚、妊娠、出産、育児の切れ目ない支援の充実 ②子育て支援の充実 ③子育て環境の充実
	2 豊かな学力と生きる力を育む教育の充実	①自ら学ぶ力を育む教育の推進 ②おもいやりの心を育む教育の推進 ③健やかな身体を育む教育の推進 ④教育環境の充実 ⑤生涯にわたる学習環境の充実
	3 スポーツの推進	①スポーツ活動の推進 ②スポーツ施設の充実
	4 芸術・文化の振興	①特色ある鳴門文化の発掘・発信と活用 ②文化・芸術に接する機会の提供
	5 国際・国内交流の推進	①国際・国内交流の推進
基本目標 2 持続発展可能なまちづくり	1 計画的な土地利用と都市拠点整備の充実	①計画的な土地利用の促進
	2 持続可能な公共交通網の実現	①運行効率の改善による持続可能な公共交通体系の構築 ②利用者ニーズに適応した公共交通サービスの提供 ③新たな需要の創出に向けた公共交通利用の促進
	3 快適で暮らしやすい都市環境の整備	①住環境の整備 ②景観の保全 ③公園・河川の整備 ④安全で強靭な水道の持続 ⑤生活排水処理の促進 ⑥道路網の整備
	4 移住・定住の促進	①移住交流の促進 ②定住の促進
	5 環境にやさしいまちづくり	①環境保全の促進 ②循環型社会の形成
基本目標 3 安全安心のまちづくり	1 災害などに強いまちづくり	①防災減災対策の推進 ②総合的な危機管理の推進
	2 消防・救急体制の充実	①消防体制の充実 ②救急体制の充実
	3 市民安全対策の充実	①交通安全の推進 ②消費者保護の充実 ③防犯対策の充実
基本目標 4 誰もが健康で いきいきと暮らせるまちづくり	1 健康づくりの推進と医療体制の確保	①健康づくりの推進 ②医療体制の充実及び地域医療の確保
	2 地域福祉の充実	①支え合い助け合うまちづくり ②安心して暮らせる環境づくり ③ネットワークの強化
	3 高齢者が暮らしやすいまちづくり	①地域包括ケアシステムの深化・推進
	4 障がい者が暮らしやすいまちづくり	①障がい者の自立支援の充実 ②障がい者の社会参加の促進
	5 社会保障の確保	①社会保障の充実
基本目標 5 活力あふれるまちづくり	1 活力ある商工業の振興	①地場産業の育成振興 ②新たな産業の振興 ③企業誘致の推進 ④就業支援対策の充実
	2 魅力ある農林水産業の振興	①農業の振興 ②畜産業の振興 ③林業の振興 ④水産業の振興
	3 地域資源を活かした観光のまちづくり	①観光交流のまちづくり ②戦略的な情報発信 ③観光客の受入環境整備
基本目標 6 みんなで創る 自立したまちづくり	1 地域コミュニティの活性化と みんなで取り組むまちづくり	①地域コミュニティの活性化 ②市民活動の支援と協働の推進 ③広聴広報の充実
	2 お互いを尊重し、 誰もが活動できる社会づくり	①人権に関する教育と、誰もが活躍できる社会づくり ②男女共同参画の推進
	3 効率的・効果的な行財政運営の推進	①効率的な行財政運営の推進 ②開かれた市政の推進と個人情報の保護 ③組織力の強化

２．令和５年度決算の概要

令和５年度は新型コロナウイルス感染症が第５類へ移行し、令和２年度から取り組んできた感染拡大防止策等の事業費は減少したものの、市民生活や地域経済に大きな影響を与える物価高騰やエネルギー価格の高騰などに対する支援策に重点的に取り組んできた。

物価高騰対策支援事業については、市施策として商品券配付事業などの市民生活支援をはじめ、農業者、漁業者への事業継続支援や、公定価格等による運営のため物価高騰等を価格転嫁できない事業者への支援などを実施するとともに、国策である物価高騰対策一体支援事業については対象者への即時支援を第一と考え、専決予算による緊急的な予算措置による対応など、迅速な事業実施に努めてきた。

また、新庁舎建設事業が最終年度を迎え、新庁舎建設にかかる事業費が最大規模となったことや、鳴門市・北島町共同浄水場整備事業など将来を見据えた重点施策である大規模事業などへの取り組みの結果、歳入、歳出ともに過去最大の決算規模となった。

（１）各会計の決算額の状況

（単位：千円）

年　度 ＼ 会計区分	令和５年度			令和４年度		
	歳入決算額	歳出決算額	差引残高	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	36,491,339	35,115,615	1,375,724	30,634,765	29,457,621	1,177,144
特別会計	23,385,798	22,705,657	680,141	23,509,812	22,819,567	690,245
国民健康保険事業特別会計	7,064,791	7,002,395	62,396	7,149,360	7,068,200	81,160
後期高齢者医療特別会計	1,103,572	1,064,037	39,535	1,053,476	1,013,931	39,545
介護保険事業特別会計	7,315,672	6,737,462	578,210	7,081,912	6,512,372	569,540
光熱水費等支出特別会計	749,812	749,812	-	750,577	750,577	-
給与費等管理特別会計	4,633,179	4,633,179	-	4,792,834	4,792,834	-
公債費管理特別会計	2,518,772	2,518,772	-	2,681,653	2,681,653	-
合　計	59,877,137	57,821,272	2,055,865	54,144,577	52,277,188	1,867,389

（２）普通会計決算の概要

① 普通会計決算規模等

令和５年度普通会計（地方財政統計上便宜的に用いられる会計区分として総務省が定めたもの。）の歳入決算額は、約３６４億９千万円であり、前年度に比べて約５８億円の増となった。その主な要因については、地方税の増（約１１億２千万円増）、市債借入の増（２９億５千万円増）、寄附金の増（約３億２千万円増）、諸収入の増（約１４億６千万円増）などが挙げられる。

歳出決算額は、約３５１億１千万円であり、前年度に比べて約５６億６千万円の増となった。その主な要因は、新庁舎整備事業費の増（約３９億１千万円増）、臨時的要因による財政調整基金への積立金増（約１４億円増）、物価高騰対策支援等に伴う事業費の増などの影響が挙げられる。

以上の要因により、歳入決算額と歳出決算額との差引額である形式収支は約１３億８千万円の黒字、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額である実質収支は約１０億５千万円の黒字となった。また、実質収支から前年度実質収支を差し引いた額である単年度収支は約１億７千万円の黒字となっており、単年度収支から実質的な黒字要素や赤字要素を加除した額である実質単年度収支は、約２０億２千万円の黒字となった。

積立金残高は約１０４億４千万円であり、前年度に比べて約９億４千万円の増となった。その一方で、地方債現在高は新庁舎整備事業等の大型事業に係る借入の影響により、約３１６億８千万円で約３５億９千万円の増、臨時財政対策債を除く地方債現在高は約２２３億１千万円であり約４３億６千万円の増となった。

（単位：千円）

区　分	令和５年度	令和４年度	令和３年度
歳入決算額（A）	36,487,418	30,631,172	35,732,895
歳出決算額（B）	35,111,694	29,454,028	34,504,209
歳入歳出差引額【形式収支】（C） （A）－（B）	1,375,724	1,177,144	1,228,686
翌年度へ繰り越すべき財源（D）	328,710	300,662	345,554
実質収支（E） （C）－（D）	1,047,014	876,482	883,132
単年度収支（F） （E）－前年度（E）	170,532	▲ 6,650	28,977
財政調整基金への積立（G）	3,008,250	1,610,745	1,810,081
地方債繰上償還金（H）	64,308	-	-
財政調整基金からの取崩（I）	1,223,452	925,295	300,000
実質単年度収支 （F）＋（G）＋（H）－（I）	2,019,638	678,800	1,539,058
積立金残高（年度末時点）	10,443,292	9,502,172	9,142,493
地方債現在高（年度末時点）	31,677,980	28,088,706	27,626,566
※臨時財政対策債除く	22,306,784	17,946,657	16,903,544

◆普通会計歳入決算額

（単位：千円）

区　分	令和５年度 A	構成比	令和４年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
地　方　税	8,532,946	23.4%	7,415,116	1,117,830	15.1%
地方譲与税	207,665	0.6%	205,530	2,135	1.0%
利子割交付金	3,666	0.0%	4,371	▲ 705	▲ 16.1%
配当割交付金	70,721	0.2%	60,914	9,807	16.1%
株式譲渡所得割交付金	74,963	0.2%	45,183	29,780	65.9%
地方消費税交付金	1,263,415	3.5%	1,276,163	▲ 12,748	▲ 1.0%
ゴルフ場利用税交付金	50,225	0.1%	49,856	369	0.7%
自動車税環境性能割交付金	22,410	0.1%	15,531	6,879	44.3%
法人事業税交付金	126,460	0.3%	107,653	18,807	17.5%
地方特例交付金等	42,158	0.1%	40,078	2,080	5.2%
地方交付税	4,971,236	13.6%	4,959,151	12,085	0.2%
うち普通交付税	4,504,424	12.3%	4,507,634	▲ 3,210	▲ 0.1%
うち特別交付税	466,812	1.3%	451,517	15,295	3.4%
交通安全対策特別交付金	6,372	0.0%	7,730	▲ 1,358	▲ 17.6%
分担金及び負担金	59,043	0.2%	76,640	▲ 17,597	▲ 23.0%
使　用　料	142,983	0.4%	146,599	▲ 3,616	▲ 2.5%
手　数　料	100,763	0.3%	103,924	▲ 3,161	▲ 3.0%
国庫支出金	5,377,662	14.7%	5,250,436	127,226	2.4%
県支出金	2,156,945	5.9%	1,950,997	205,948	10.6%
財産収入	262,560	0.7%	320,694	▲ 58,134	▲ 18.1%
寄　附　金	802,852	2.2%	487,744	315,108	64.6%
繰　入　金	3,024,464	8.3%	3,282,871	▲ 258,407	▲ 7.9%
繰　越　金	1,177,144	3.2%	1,228,686	▲ 51,542	▲ 4.2%
諸　収　入	2,026,565	5.6%	562,205	1,464,360	260.5%
地　方　債	5,984,200	16.4%	3,033,100	2,951,100	97.3%
合　計	36,487,418	100.0%	30,631,172	5,856,246	19.1%

◆普通会計歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

区　分	令和５年度 A	構成比	令和４年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
義務的経費	14,352,800	40.9%	14,119,217	233,583	1.7%
人件費	4,666,205	13.3%	4,829,631	▲ 163,426	▲ 3.4%
扶助費	7,167,823	20.4%	6,607,933	559,890	8.5%
公債費	2,518,772	7.2%	2,681,653	▲ 162,881	▲ 6.1%
物件費	3,959,292	11.3%	3,843,601	115,691	3.0%
維持補修費	339,733	1.0%	328,273	11,460	3.5%
補助費等	2,204,199	6.3%	1,981,566	222,633	11.2%
うち水道事業会計への繰出金	1,698	0.0%	1,654	44	2.7%
うちモーターボート競走事業会計への繰出金	2,915	0.0%	2,034	881	43.3%
うち下水道事業会計への繰出金	436,989	1.2%	447,560	▲ 10,571	▲ 2.4%
積立金	3,863,449	11.0%	2,435,752	1,427,697	58.6%
うち財政調整基金への積立金	3,008,250	8.6%	1,610,745	1,397,505	86.8%
うち減債基金への積立金	72,729	0.2%	210	72,519	34,532.9%
投資及び出資金・貸付金	688,500	1.9%	579,200	109,300	18.9%
繰出金	2,835,373	8.1%	2,796,517	38,856	1.4%
投資的経費	6,868,348	19.5%	3,369,902	3,498,446	103.8%
うち普通建設事業費	6,868,348	19.5%	3,369,902	3,498,446	103.8%
うち災害復旧事業費	-	-	-	-	-
合　計	35,111,694	100.0%	29,454,028	5,657,666	19.2%

◆普通会計歳出決算額（目的別）

（単位：千円）

区　分	令和５年度 A	構成比	令和４年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
議　会　費	237,456	0.7%	230,913	6,543	2.8%
総　務　費	11,787,040	33.6%	6,601,889	5,185,151	78.5%
民　生　費	10,978,972	31.3%	10,608,103	370,869	3.5%
衛　生　費	3,275,814	9.3%	3,041,584	234,230	7.7%
労　働　費	932	0.0%	761	171	22.5%
農林水産業費	626,516	1.8%	536,245	90,271	16.8%
商　工　費	476,731	1.4%	271,875	204,856	75.3%
土　木　費	2,050,606	5.8%	2,049,831	775	0.0%
消　防　費	891,300	2.5%	1,029,486	▲ 138,186	▲ 13.4%
教　育　費	2,264,640	6.4%	2,399,654	▲ 135,014	▲ 5.6%
災害復旧費	-	-	-	-	-
公　債　費	2,518,772	7.2%	2,681,653	▲ 162,881	▲ 6.1%
諸支出金	2,915	0.0%	2,034	881	43.3%
合　計	35,111,694	100.0%	29,454,028	5,657,666	19.2%

② 各種財政指標の推移

区　分	令和５年度	令和４年度	令和３年度
経常収支比率 （財政構造の弾力性。低いほど良い）	92.0%	97.8%	93.9%
財政力指数（３カ年平均） （財政力の強さ。高いほど良い）	0.61	0.61	0.62
実質収支比率 （財政の健全性。３～５％が望ましい）	7.6%	6.4%	6.2%
実質公債費比率（３カ年平均） （地方債返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を表す指標。低いほど良い）	11.9%	12.3%	12.5%
将来負担比率 （地方債など将来負担すべき実質的な負債の現時点での残高を表す指標。低いほど良い）	95.2%	89.7%	87.6%

【参考】入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧

■入湯税

入湯税は地方税法第701条の規定により以下のような費用に充てるものとされています。

- **環境衛生施設の整備**
- **鉱泉源の保護管理施設の整備**
- **消防施設等の整備**
- **観光施設の整備**
- **観光振興**

〈令和５年度　入湯税の使途状況〉

区　分	事　業　名	事　業　費	当該事業の財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源等	
						入湯税	その他
観光施設の整備	観光情報センター管理費	20,924	-	-	405	11,520	8,999
観光振興	鳴門市うずしお観光協会補助金	18,000	-	-	-	9,000	9,000
合　計		38,924	-	-	405	20,520	17,999

※「令和３年度地方税制改正・地方税務行政の運営に当たっての留意事項等について」（令和３年１月２０日総務省事務連絡）により、入湯税の趣旨を踏まえ、「入湯税収の具体的事業費への充当について予算書、決算書の事項別明細書あるいは説明資料等において明示することにより、その使途を明確にすること」とあることから、使途を明示するものです。

■引上げ分の地方消費税交付金

引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる「社会保障４経費」、「その他社会保障施策に要する経費」については、次のとおりです。

（歳入）	地方消費税交付金（社会保障財源化分）	699,329 千円
（歳出）	社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費	10,131,768 千円

〈令和５年度　引上げ分の地方消費税交付金の使途状況〉　（単位：千円）

事　業　名		経　費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち引上げ分の地方消費税交付金
			国県支出金	地方債	その他		
社会福祉	障がい者福祉事業	2,421,338	2,008,779	-	-	412,559	699,329
	高齢者福祉事業	63,026	-	-	11,142	51,884	
	児童福祉事業（母子父子福祉事業含む）	3,091,811	2,111,084	-	82,200	898,527	
	生活保護扶助事業	1,322,423	1,012,327	-	-	310,096	
	小　計	6,898,598	5,132,190	-	93,342	1,673,066	
社会保険	国民健康保険事業	626,250	300,362	-	-	325,888	
	後期高齢者医療事業	1,199,474	193,195	-	-	1,006,279	
	介護保険事業	1,009,649	78,879	-	-	930,770	
	小　計	2,835,373	572,436	-	-	2,262,937	
保健衛生	救急医療対策事業	49,208	35,060	-	-	14,148	
	予防接種事業	250,284	103,285	-	7,950	139,049	
	母子保健事業	63,742	13,520	-	-	50,222	
	健康増進事業	34,563	1,023	-	232	33,308	
	小　計	397,797	152,888	-	8,182	236,727	
合　計		10,131,768	5,857,514	-	101,524	4,172,730	699,329

※「引上げ分に係る地方消費税収の使途の明確化について」（平成２６年１月２４日総務省通知）により、消費税率の引上げにより増加した地方消費税交付金の充当について、使途を明示したものです。

３.実施計画兼評価シート

（１）実施計画兼評価シートの見方

個別の事業ごとに「実施計画兼評価シート（令和５年度事業分）」により、「計画ベース」と「実績ベース」として整理を行った。

①【計画ベース】の見方

ⅰ　基本情報について

基本目標や目指す姿など、事業の基本的な情報を示している。

ⅱ　事業概要について

事業の実施方針・内容等を示しており、令和６年度及び令和７年度の事業費は、実施計画策定時における事業費を示している。また、事業の評価指標となる成果指標の目標値を示している。

ⅲ　事業費について

令和５年度の予算額を示しており、当初予算額に令和５年度中の補正予算額や前年度からの繰越額等を合計し、全体予算額（最終予算額）を示している。

②【実績ベース】の見方

ⅰ　実施結果について

令和５年度に実施した事業の内容、成果等について示している。なお、「事業費推移」中の「決算額計」については、「前年度からの繰越決算額」と「当年度決算額」の合計額を示している。

ⅱ　進捗状況欄の評価区分について

令和５年度に実施した事業の内容、成果等についての評価を示している。なお、「今年度の進捗状況欄」及び「事業全体の進捗状況欄」における進捗状況の区分については、次のとおりである。

⑴ 前倒し実施
次年度以降の目標を前倒しで達成したもの

⑵ 計画どおり
当初の取組目標や計画内容が、達成されたもの（事業全体の進捗状況については、「達成に向かっているもの」と読み替える）

⑶ ほぼ計画どおり
当初の予定よりは達成状況がやや下回っているが、目標や計画内容の達成が見込まれるもの

⑷ 未達成
取組目標や計画内容が達成できなかったもの

⑸ 未着手
計画内容に着手できなかったもの

⑹ 完了（事業全体の進捗状況欄のみに適用）
令和５年度で事業が完了したもの

⑺ 終了（事業全体の進捗状況欄のみに適用）
事業の見直し等を行い、令和５年度で事業が終了したもの

ⅲ　成果指標に対する評価区分について(成果指標の目標達成率目安)

A:目標を達成できた(１００％以上のもの)

B:概ね目標を達成できた(７０％を上回るもの)

C:あまり目標を達成出来なかった(５０％～７０％のもの)

D:目標を達成出来なかった(５０％を下回るもの)

原則として、１事業につき１つの成果指標とするが、単独の成果指標では事業評価が困難であるものについては、複数の成果指標を設定している。

ⅳ　今後の方向性について

令和５年度の事業全体の課題を記入するとともに、向こう２年間の事業の方向性を下記の４区分により示したもの。

1.廃止：事業の廃止を検討するもの。

2.要改善：事業の対象・目標・内容が適切でなく、見直し（縮小）の必要があるもの。

3.現状維持：事業の対象・目標・内容等が概ね適切であるもの。

4.拡充：成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡大又は充実すべきもの。

（2）掲載事業一覧表【体系順】

総事業数	44事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	28事業
ほぼ計画どおり	16事業
未達成	0事業
未着手	0事業
完了	0事業
終了	0事業

成果指標に対する評価		今後の方向性	
A	27事業	廃止	0事業
B	14事業	要改善	0事業
C	4事業	現状維持	35事業
D	2事業	拡充	9事業
		令和5年度完了（終了）事業	0事業

基本目標	基本方針	事業No.	担当課	事務事業名	R5年度事業費 全体予算額（単位：円）	R5年度事業費 決算額（単位：円）	今年度の進捗状況	成果指標に対する評価	今後の方向性
1	1	1	子育て支援課・健康増進課・社会福祉課・戦略企画課・教育総務課・学校教育課	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業	326,708,000	304,501,241	計画どおり	B	拡充
		2	こども保育教育課	就学前教育・保育環境の充実	152,849,000	138,249,000	計画どおり	A	拡充
		3	子育て支援課・こども保育教育課	子ども・子育て家庭の居場所づくり	71,634,000	71,052,000	ほぼ計画どおり	C	現状維持
		4	こども家庭センター	子育て世代包括支援事業（母子保健型）	12,280,000	10,488,692	ほぼ計画どおり	B	拡充
	2	1	学校教育課・教育支援室	学校教育充実事業	50,280,000	46,529,204	ほぼ計画どおり	D D A	現状維持
		2	総合教育人権課	生涯学習推進事業	35,992,000	33,790,525	計画どおり	A	現状維持
	3	1	スポーツ課	スポーツ活動推進事業	12,053,000	9,361,136	ほぼ計画どおり	A	現状維持
	4	1	文化交流推進課・学校教育課	「なると第九」ブランド化推進事業	36,720,000	34,187,820	計画どおり	A	現状維持
		2	文化交流推進課	文化財保存活用事業	8,624,000	6,516,768	計画どおり	A	現状維持
	5	1	文化交流推進課	国際・国内交流事業	7,410,000	6,963,396	計画どおり	A	現状維持
2	1	1	観光振興課・戦略企画課	四国のゲートウェイ推進事業	10,700,000	9,696,000	計画どおり	B	現状維持
	2	1	地域交通推進室	公共交通対策事業	170,222,000	166,915,103	計画どおり	A	現状維持
	3	1	まちづくり課	住環境整備事業	91,647,000	72,006,716	ほぼ計画どおり	B	拡充
		2	土木課	道路・河川整備事業	190,950,000	189,338,901	計画どおり	A	現状維持
		3	公園緑地課	公園活用推進事業	3,834,000	3,683,006	ほぼ計画どおり	B	現状維持
		4	水道企画課・水道事業課	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	2,565,734,000	2,565,733,500	計画どおり	A	現状維持
		5	下水道課	公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業	811,447,000	529,270,308	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	4	1	商工政策課	移住交流促進事業	9,920,000	4,817,097	計画どおり	A	拡充
		2	子育て支援課・健康増進課・社会福祉課・戦略企画課・教育総務課・学校教育課	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業（再掲）					
	5	1	環境政策課	環境保全推進事業	23,297,000	19,395,082	計画どおり	A	現状維持
		2	環境政策課	ごみ対策事業	81,444,000	69,104,313	計画どおり	A	現状維持
3	1	1	危機管理局	災害対策事業	15,482,000	13,411,230	計画どおり	A	現状維持
		2	土木課	排水機場・樋門整備事業	256,750,000	136,597,000	ほぼ計画どおり	C	現状維持
		3	特定事業推進課	耐震化・施設整備等推進事業	5,343,794,000 101,253,000	5,068,204,261 93,558,964	計画どおり	A A	現状維持
	2	1	消防総務課・警防課	消防・救急体制強化事業	34,983,000	34,081,249	計画どおり	A	拡充
	3	1	市民協働推進課	市民安全対策事業	22,124,000	18,593,927	ほぼ計画どおり	C	現状維持
4	1	1	保険課	特定健診・特定保健指導事業	66,603,000	39,565,031	ほぼ計画どおり	C	現状維持
		2	健康増進課	市民の健康づくり対策事業	33,876,000	33,424,945	計画どおり	B	拡充
		3	健康増進課	地域医療確保事業	85,225,000	50,650,246	計画どおり	A	現状維持
	2	1	社会福祉課	包括的な支援体制整備事業	171,000	21,000	計画どおり	A	現状維持
	3	1	長寿介護課	地域支援事業	361,028,000	312,645,780	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	4	1	社会福祉課	地域生活支援事業	100,808,000	91,422,297	計画どおり	A	現状維持
	5	1	社会福祉課	生活困窮者自立支援事業	32,140,000	31,212,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持
5	1	1	戦略企画課	地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業（ふるさと納税寄附金等推進事業）	477,515,000	448,818,070	計画どおり	A	拡充
		2	商工政策課	企業誘致推進事業	19,794,000	16,376,640	計画どおり	A	拡充
	2	1	農林水産課	鳴門ブランド強化事業（農業）	27,233,000	21,827,000	計画どおり	A	現状維持
		2	農林水産課・水産振興室	鳴門ブランド強化事業（水産）	47,629,000	45,189,799	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	3	1	観光振興課	観光誘客推進事業	38,853,000	30,504,541	計画どおり	A	現状維持
		2	観光振興課・戦略企画課	四国のゲートウェイ推進事業（再掲）					
6	1	1	市民協働推進課	市民協働のまちづくり推進事業	17,309,000	16,310,023	計画どおり	A	現状維持
		2	秘書広報課	広報戦略推進事業	24,252,000	20,638,275	計画どおり	B	現状維持
	2	1	人権推進課・人権福祉センター	人権啓発推進事業	2,348,000	1,516,165	ほぼ計画どおり	B	現状維持
		2	総合教育人権課	人権教育推進事業	3,135,000	2,121,053	ほぼ計画どおり	B	現状維持
		3	人権推進課	男女共同参画推進事業	320,000	119,550	計画どおり	A	現状維持
	3	1	デジタル戦略課・財政課	「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」推進事業	50,000	11,000	計画どおり	A	現状維持
		2	人事課	人材育成推進事業	12,513,000	9,598,383	ほぼ計画どおり	B	現状維持
合計				44事業	11,798,933,000	10,828,018,237			

（2）掲載事業一覧表【組織機構順】

総事業数	44事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	28事業
ほぼ計画どおり	16事業
未達成	0事業
未着手	0事業
完了	0事業
終了	0事業

成果指標に対する評価		今後の方向性	
A	27事業	廃止	0事業
B	14事業	要改善	0事業
C	4事業	現状維持	35事業
D	2事業	拡充	9事業
		令和5年度完了（終了）事業	0事業

	基本目標	基本方針	事業No.	担当課	事務事業名	R5年度事業費 全体予算額 （単位：円）	R5年度事業費 決算額 （単位：円）	今年度の進捗状況	成果指標に対する評価	今後の方向性
危機管理局	3	1	1	危機管理局	災害対策事業	15,482,000	13,411,230	計画どおり	A	現状維持
企画総務部	6	3	2	人事課	人材育成推進事業	12,513,000	9,598,383	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	6	1	2	秘書広報課	広報戦略推進事業	24,252,000	20,638,275	計画どおり	B	現状維持
	6	3	1	デジタル戦略課・財政課	「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」推進事業	50,000	11,000	計画どおり	A	現状維持
	5	1	1	戦略企画課	地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業（ふるさと納税寄附金等推進事業）	477,515,000	448,818,070	計画どおり	A	拡充
	2	2	1	地域交通推進室	公共交通対策事業	170,222,000	166,915,103	計画どおり	A	現状維持
	3	1	3	特定事業推進課	耐震化・施設整備等推進事業	5,343,794,000	5,068,204,261	計画どおり	A	現状維持
						101,253,000	93,558,964		A	
市民生活部	3	3	1	市民協働推進課	市民安全対策事業	22,124,000	18,593,927	ほぼ計画どおり	C	現状維持
	6	1	1	市民協働推進課	市民協働のまちづくり推進事業	17,309,000	16,310,023	計画どおり	A	現状維持
	1	3	1	スポーツ課	スポーツ活動推進事業	12,053,000	9,361,136	ほぼ計画どおり	A	現状維持
	1	4	1	文化交流推進課・学校教育課	「なると第九」ブランド化推進事業	36,720,000	34,187,820	計画どおり	A	現状維持
	1	4	2	文化交流推進課	文化財保存活用事業	8,624,000	6,516,768	計画どおり	A	現状維持
	1	5	1	文化交流推進課	国際・国内交流事業	7,410,000	6,963,396	計画どおり	A	現状維持
環境生部	2	5	1	環境政策課	環境保全推進事業	23,297,000	19,395,082	計画どおり	A	現状維持
	2	5	2	環境政策課	ごみ対策事業	81,444,000	69,104,313	計画どおり	A	現状維持
健康福祉部	4	1	1	保険課	特定健診・特定保健指導事業	66,603,000	39,565,031	ほぼ計画どおり	C	現状維持
	4	1	2	健康増進課	市民の健康づくり対策事業	33,876,000	33,424,945	計画どおり	B	拡充
	4	1	3	健康増進課	地域医療確保事業	85,225,000	50,650,246	計画どおり	A	現状維持
	4	3	1	長寿介護課	地域支援事業	361,028,000	312,645,780	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	6	2	1	人権推進課・人権福祉センター	人権啓発推進事業	2,348,000	1,516,165	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	6	2	3	人権推進課	男女共同参画推進事業	320,000	119,550	計画どおり	A	現状維持
	4	2	1	社会福祉課	包括的な支援体制整備事業	171,000	21,000	計画どおり	A	現状維持
	4	4	1	社会福祉課	地域生活支援事業	100,808,000	91,422,297	計画どおり	A	現状維持
	4	5	1	社会福祉課	生活困窮者自立支援事業	32,140,000	31,212,000	ほぼ計画どおり	B	現状維持
こども創造未来部	1	1	1	子育て支援課・健康増進課・社会福祉課・戦略企画課・教育総務課・学校教育課	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業	326,708,000	304,501,241	計画どおり	B	拡充
	2	4	2							
	1	1	2	こども保育教育課	就学前教育・保育環境の充実	152,849,000	138,249,000	計画どおり	A	拡充
	1	1	3	子育て支援課・こども保育教育課	子ども・子育て家庭の居場所づくり	71,634,000	71,052,000	ほぼ計画どおり	C	現状維持
	1	1	4	こども家庭センター	子育て世代包括支援事業（母子保健型）	12,280,000	10,488,692	ほぼ計画どおり	B	拡充
都市建設部	2	3	1	まちづくり課	住環境整備事業	91,647,000	72,006,716	ほぼ計画どおり	B	拡充
	2	3	2	土木課	道路・河川整備事業	190,950,000	189,338,901	計画どおり	A	現状維持
	3	1	2	土木課	排水機場・樋門整備事業	256,750,000	136,597,000	ほぼ計画どおり	C	現状維持
	2	3	5	下水道課	公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業	811,447,000	529,270,308	ほぼ計画どおり	B	現状維持
	2	3	3	公園緑地課	公園活用推進事業	3,834,000	3,683,006	ほぼ計画どおり	B	現状維持
産業振興部	2	4	1	商工政策課	移住交流促進事業	9,920,000	4,817,097	計画どおり	A	拡充
	5	1	2	商工政策課	企業誘致推進事業	19,794,000	16,376,640	計画どおり	A	拡充
	2	1	1	観光振興課・戦略企画課	四国のゲートウェイ推進事業	10,700,000	9,696,000	計画どおり	B	現状維持
	5	3	2							
	5	3	1	観光振興課	観光誘客推進事業	38,853,000	30,504,541	計画どおり	A	現状維持
	5	2	1	農林水産課	鳴門ブランド強化事業（農業）	27,233,000	21,827,000	計画どおり	A	現状維持
	5	2	2	農林水産課・水産振興室	鳴門ブランド強化事業（水産）	47,629,000	45,189,799	ほぼ計画どおり	B	現状維持
消防本部	3	2	1	消防総務課・警防課	消防・救急体制強化事業	34,983,000	34,081,249	計画どおり	A	拡充
企業局	2	3	4	水道企画課・水道事業課	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	2,565,734,000	2,565,733,500	計画どおり	A	現状維持
教育委員会	1	2	1	学校教育課・教育支援室	学校教育充実事業	50,280,000	46,529,204	ほぼ計画どおり	D	現状維持
									D	
									A	
	1	2	2	総合教育人権課	生涯学習推進事業	35,992,000	33,790,525	計画どおり	A	現状維持
	6	2	2	総合教育人権課	人権教育推進事業	3,135,000	2,121,053	ほぼ計画どおり	B	現状維持
合計					44事業	11,798,933,000	10,828,018,237			

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	1	子育てしやすいまちづくり

めざす姿	「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業①	事業名	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業	担当部署	こども未来創造部 子育て支援課、健康福祉部 健康増進課・社会福祉課、企画総務部 戦略企画課、教育委員会 教育総務課・学校教育課		
	実施方針	令和4年度から7年度までの4年間を「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置づけ、出会い・結婚・新生活、妊娠・出産、就学前から高校、住宅取得の各ステージの子育て世代を包括的にサポートする「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」をスタートした。 本市が県内随一の子育て応援都市に生まれ変わり、子育て世代の定住人口の確保を実現していくための切り札として、強力に推進していきます。	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				325,441	362,065	381,772
	事業内容（R5）	①住宅取得 ・なると定住促進住宅取得補助金 ②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産 ・地域婚活支援事業補助金　・地域婚活支援重点事業　・なると結婚新生活支援補助金　・なると新婚世帯家賃補助金 ・赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト）　・子育て世代のライフプランニング応援事業 ・新生児出産祝い金事業　・不育治療支援事業　・多胎妊婦健康診査支援事業　・妊娠判定受診費用助成事業　・不妊治療助成事業 ③就学前・小学生・中学生 ・鳴門市版児童手当特例給付事業　・第2子保育料無償化事業　・2歳児保育料無償化事業　・就学前の障がい児発達支援無償化事業 ・病児・病後児保育広域利用助成事業　・ファミリーサポートセンター利用料助成事業　・小中学校等入学祝い金　・新1年生ランドセル無償化事業 ・中3生応援給食費無償化事業 ④高校生など ・子育て応援手当事業　・高校生等医療費助成事業　・鳴門市奨学金制度				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	出生児童数	245	240	250	270	300	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	325,441	1,267	326,708

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業①		
事業実施内容（R5）	①住宅取得　・なると定住促進住宅取得補助金（99名） ②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産 ・地域婚活支援事業補助金（3件）　・地域婚活支援重点事業（1回実施・16名参加）　・なると結婚新生活支援補助金（27名）　・なると新婚世帯家賃補助金（71名）　・赤ちゃん授業（未来のﾊﾟﾊﾟﾏﾏ応援ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）2回実施・202名参加　・子育て世代のﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ応援事業（ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝｾﾐﾅｰ3回実施・のべ114名参加）　・新生児出産祝い金事業（給付率100%・193名に給付）　・不育治療支援事業（のべ4名）　・多胎妊婦健康診査支援事業（0）　・妊娠判定受診費用助成事業（のべ6名）　・不妊治療助成事業（のべ84名） ③就学前・小学生・中学生 ・鳴門市版児童手当特例給付事業（68名）　・第2子保育料無償化事業（のべ345月分）　・2歳児保育料無償化事業（のべ425月分）　・就学前の障がい児発達支援無償化事業（のべ21名）　・病児・病後児保育広域利用助成事業（のべ38名）　・ファミリーサポートセンター利用料助成事業（144名）　・小中学校等入学祝い金（給付率96.1%、対象者795名のうち764名）　・新1年生ランドセル無償化事業（申請率98%・対象者303名のうち297名）　・中3生応援給食費無償化事業（のべ4,810人） ④高校生など　・子育て応援手当事業（給付率97.2%、対象者1,377名のうち1,339名）　・高校生等医療費助成事業（3名）　・鳴門市奨学金制度（48名）

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	出生児童数	250	199	220	240	270	人
	目標達成率(実績/目標)		79.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	87,611,180	0	304,501,241	304,501,241	0
財源内訳	国庫支出金	57,560,000	0	1,440,000	1,440,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	45,050,000	45,050,000	0
	一般財源	30,051,180	0	258,011,241	258,011,241	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	出生児童数		成果指標に対する所見	子育て世帯からは施策に対する高い評価を得ている一方で、出生数は、コロナ禍による婚姻数の減少等の影響もあり、年々減少傾向となっており、効果が現れるまでには一定期間を要すると考えられる。若者の出会いやライフプラン支援に関する事業など、現状の課題に即した施策展開が求められる。
	目標	250	人		
	実績	199	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		給付金事業は、90～100%の高い給付率を達成しており、その他の事業においても、子育て世帯へのアンケート調査結果によると一定の高い評価を得ているが、利用者や参加者をより増やせるよう、事業の周知広報やPRについて、その手法の検討や工夫に注力する必要がある。また、各事業の効果検証や対象者のニーズを踏まえ、事業の選択、拡充、改善を行っていく必要がある。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　□ 3.現状維持　☑ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	令和5年度事業に加え、下記事業を追加・拡充 【追加】①結婚応援セミナー②結婚支援アイデアコンテスト（入賞ｱｲﾃﾞｱを一部事業化）③葉酸摂取サポート(妊娠を希望する方に葉酸ｻﾌﾟﾘﾒﾝﾄを配布）④乳幼児ねんねケア事業（乳幼児の睡眠改善のｱﾄﾞﾊﾞｲｽが受けられるアプリを希望者に提供）⑤おむつ・粉ミルク等無償宅配（0～2歳児を在宅で育児する世帯に無償宅配）⑤ママのための学び舎（子育て中ﾏﾏのｷｬﾘｱｱｯﾌﾟを応援）⑥市内企業おしごと体験（市内小学・中学生を対象に職業体験ｲﾍﾞﾝﾄを開催）⑦インフルエンザ予防接種費助成（中3・高3生を対象に1人1回無料接種） 【拡充】①保育料無償化（認可保育施設・市内認可外保育施設の保育料を0歳から完全無償化）
	令和7年度	継続して事業を実施する。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	1	子育てしやすいまちづくり

めざす姿	「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業②	事業名	就学前教育・保育環境の充実	担当部署	こども未来創造部　こども保育教育課		
	実施方針	①就学前教育・保育無償化の推進 ②いきいき保育環境なるっと補助金事業 ③保育所等巡回相談事業 ④保育士人材確保推進事業 ⑤小学校への円滑な接続	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				153,299	189,923	209,630
	事業内容（R5）	①就学前教育・保育無償化の推進 ・国が実施する3歳児以上の保育所、認定こども園、幼稚園の利用者負担額（保育料）無償化に加え、市独自に第2子以降及び2歳児の保育料無償化を実施。 ②いきいき保育環境なるっと補助金事業 ・市内私立保育所、認定こども園の教育・保育環境充実のための補助メニューを設定し、各施設への補助を実施。 ③保育所等巡回相談事業 ・育児不安を抱える子育て家庭や保育所や認定こども園の職員のスキルアップのため、医師、臨床心理士及び保健師が希望する保育所や認定こども園を訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に応じる。 ④保育士人材確保推進事業 ・市内私立保育所や認定こども園に勤務する保育士を対象に、支援金や手当を支給することで、安定した保育士確保に繋げる。 ⑤小学校への円滑な接続 ・『鳴門市就学前教育・保育モデルカリキュラム』をもとに、連携小学校区連絡協議会を開催する等、小学校と就学前教育・保育施設との連携強化を図る。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	就学前教育・保育施設利用率	75.3	71.8	75.0	80.0	80.0	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	153,299	△ 450	152,849

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	①就学前教育・保育無償化の推進 ・国が実施する3歳児以上の保育所、認定こども園、幼稚園の利用者負担額（保育料）無償化に加え、市独自に第2子以降及び2歳児の保育料無償化を実施した。 ②いきいき保育環境なるっと補助金事業 ・市内私立保育所、認定こども園の教育・保育環境充実のための補助メニューを設定し、各施設への補助を実施した。 ③保育所等巡回相談事業 ・育児不安を抱える子育て家庭や保育所や認定こども園の職員のスキルアップのため、医師、臨床心理士及び保健師が希望する保育所や認定こども園を訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に対応した。 ④保育士人材確保推進事業 ・市内私立保育所や認定こども園に勤務する保育士を対象に、支援金や手当を支給することで、安定した保育士確保に努めた。 ⑤小学校への円滑な接続 ・『鳴門市就学前教育・保育モデルカリキュラム』をもとに、連携小学校区連絡協議会を開催する等、小学校と就学前教育・保育施設との連携強化を図った。

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	就学前教育・保育施設利用率	71.8	75.7	80.0	80.0	80.0	%
	目標達成率(実績/目標)		100.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	88,236,350	0	138,249,000	138,249,000	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	6,917,000	0	9,712,000	9,712,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	9,681,000	0	16,378,000	16,378,000	0
	一般財源	71,638,350	0	112,159,000	112,159,000	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	就学前教育・保育施設利用率	成果指標に対する所見	少子化の影響で児童数が減少する一方、就学前教育・保育環境が充実することで、保育施設等の利用率は増加している。保育料無償化事業については市外からの問い合わせも多く、本市の子育て環境の充実を市内外にPRすることができている。
	目標	75.0 %		
	実績	76 %		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	①就学前教育・保育無償化の推進 ・認可外保育所についても利用料の助成を求める意見がある。 ②いきいき保育環境なるっと補助金事業 ・保育現場の環境変化や社会情勢に応じて補助メニューの変更・追加を行う必要がある。 ③保育所等巡回相談事業 ・保育施設と指導者である医師や臨床心理士との日程調整を工夫することで、保護者や施設のニーズに可能な限り対応できる体制を整える必要がある。 ④保育士人材確保推進事業 ・市内に勤務する保育士等については、事業が浸透しているが、潜在保育士等への周知に課題がある。 ⑤小学校への円滑な接続 ・保育所、幼稚園、認定こども園といった施設形態によらず小学校との連携及び情報共有を図る機会に多くの施設が参加できるよう教育委員会と市長部局との連携を密にする必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	・継続して事業を行う。 ・保育料無償化事業を拡充し、認可保育所、認定こども園を利用する児童すべての保育料無償化に取り組む。また、市内認可外保育所利用者に対しても、助成の範囲を拡大する。
	令和7年度	継続して事業を行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	1	子育てしやすいまちづくり

めざす姿	「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業③	**事業名**	子ども・子育て家庭の居場所づくり	**担当部署**	こども未来創造部 子育て支援課・こども保育教育課		
	実施方針	①地域子育て支援拠点事業 ②子どもの居場所づくり事業 ③子どもの居場所支援事業	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				70,189	70,189	78,587
	事業内容（R5）	①地域子育て支援拠点事業 ・在宅で乳幼児の子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子育てに関する相談を行う場を提供することで、子育て家庭の子育ての負担感の軽減を図る。 ・4か月児がいる家庭を訪問する乳幼児全戸訪問事業を実施し、積極的に子育て支援事業や相談窓口の案内を行う。 ・市内小中学校で赤ちゃん授業を実施し、児童の自己肯定感等を育む。 ②子どもの居場所づくり事業 ・子どもの地域の居場所づくりや子育て支援を目的とした食事や団らん、学習支援等を提供する「子ども食堂」を運営する団体に、初期費用や運営に係る費用を補助することで、貧困の連鎖を断ち切り、子どもたちが健やかに生活できる環境整備を進める。 ③子どもの居場所支援事業 ・経済状況や家庭状況に課題を抱える子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣などを身に付けられるよう、小学生を対象とした居場所の提供を行う。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	地域子育て支援拠点事業利用者数（月平均）	249	350	600	650	700	組

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	70,189	1,445	71,634

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業③		
事業実施内容（R5）	①地域子育て支援拠点事業 ・在宅で乳幼児の子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子育てに関する相談を行う場を提供することで、子育て家庭の子育ての負担感の軽減を図った。 ②子どもの居場所づくり事業 ・「子ども食堂」や「学習支援」など子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを実施する4団体に、初期経費や運営経費の補助を行った。 令和5年度延利用人数：9,294名 ③子どもの居場所支援事業 ・生活や学習等の環境に困難を抱える子どもを支援し、将来の自立につながる力を身につけることを目的として、安心して過ごせる居場所及び放課後等における子どもの活動の機会を提供した。 令和5年度登録人数：23名	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	地域子育て支援拠点事業利用者数（月平均）	343	358	650	700	750	組
	目標達成率(実績/目標)		59.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	50,856,914	0	71,052,000	71,052,000	0
財源内訳	国庫支出金	16,114,000	0	16,603,000	16,603,000	0
	県支出金	16,114,000	0	29,212,000	29,212,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	621,914	0	7,142,000	7,142,000	0
	一般財源	18,007,000	0	18,095,000	18,095,000	0

◎評価（CHECK）

事業③	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	地域子育て支援拠点事業利用者数（月平均）		成果指標に対する所見	少子化や保育料無償化事業による施設利用率の増加により、対象児童が減少している。
	目標	600	組		
	実績	358	組		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

事業③		
課題	①地域子育て支援拠点事業 保育料無償化事業により、在宅で育児をする家庭が減少する中、利用者は減少しているが、保育所等を利用せずに在宅で育児をする家庭の交流や相談の場として、子育てに対する不安感や負担感の軽減に繋がっている。利用者数だけでなく、必要な家庭に支援や情報が届いているかにも注意を払いながら事業を進める必要がある。 ②子どもの居場所づくり事業 地域全体で子どもたちを見守る場所として子ども食堂の箇所数は増えてきている一方で、実施場所の確保についての課題もある。今後においても、実施団体と情報共有を図りながら、財政面だけでなく多様な支援を行うことにより、安心して子どもたちに過ごしてもらえる居場所づくりに繋げていく必要がある。 ③子どもの居場所支援事業 支援の必要な家庭にアウトリーチする方法を今後も検討していく必要がある。	

6b	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	継続して事業を行う。
	令和7年度	継続して事業を行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	1	子育てしやすいまちづくり

めざす姿	「なると まるごと 子育て応援パッケージ」により、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境づくりを推進します。また、行政、家庭、職場、地域が連携して、きめ細やかな子育て支援策を展開し、県内随一の子育て応援都市をめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業④	**事業名**	子育て世代包括支援事業（母子保健型）	**担当部署**	こども未来創造部　こども家庭センター		
	実施方針	安心して子どもを産み育てることができるよう母子保健と子育て支援を一体的に提供し、関係機関と連携を図りながら妊娠期から就学前まで切れ目のない相談支援を実施。	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				10,832	10,832	10,832
	事業内容（R5）	①全ての妊産婦を対象に妊娠届出時、妊娠後期、出生届出後等、継続的に面談対応（オンライン相談含む）する伴走型相談支援の実施。 ②妊娠・出産に伴う心身の不調など妊産婦の負担軽減を図る必要がある場合、各種産前・産後サービスを実施。 ③育児支援者の不在や経済的困窮など生活上、支援を要する場合や子どもの発達支援を要する場合など、関係機関につなぎ連携して継続的な支援を実施。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、対処できる方法を知っている保護者の割合	84.1	85.0	86.0	91.0	92.0	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	10,832	1,448	12,280

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業④		
事業実施内容（R5）	①全ての妊産婦を対象に妊娠届出時、妊娠後期、出生届出後等、継続的に面談対応（オンライン相談含む）する伴走型相談支援の実施。 ②妊娠・出産に伴う心身の不調など妊産婦の負担軽減を図る必要がある場合、各種産前・産後サービスを実施。 ③育児支援者の不在や経済的困窮など生活上、支援を要する場合や子どもの発達支援を要する場合など、関係機関につなぎ連携して継続的な支援を実施。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、対処できる方法を知っている保護者の割合	87.8	82.2	85.0	86.0	87.0	%
	目標達成率(実績/目標)		95.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	8,583,283	0	10,488,692	10,488,692	0
財源内訳	国庫支出金	4,432,000	0	4,667,000	4,667,000	0
	県支出金	1,782,000	0	2,622,000	2,622,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,369,283	0	3,199,692	3,199,692	0

◎評価（CHECK）

事業④	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、対処できる方法を知っている保護者の割合	成果指標に対する所見	子育て世代包括支援推進協議会や医療機関、また地域の子育て団体との連携を図った。要支援者に対する支援の方向性に関する協議、支援計画を作成、進捗管理し継続して支援を行う体制づくりを推進した。
	目標	86.0 %		
	実績	82.2 %		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業④		
課題	前年度に引き続き、関係機関と情報共有・連携を行いながら相談・情報発信の場としての機能が果たせるよう、地域の公私サービスを含めた情報の掘り起こしを行う必要がある。また、子ども家庭センターの新設や、産後ケア事業のユニバーサル化など、国が示す子育て支援施策をもとに、子育て環境で生じる市の状況に応じた事業の見直しを行う必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	産後ケア事業のユニバーサル化、産前・産後サービスの利用促進及び助産師・心理士の相談支援の充実
	令和7年度	継続

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	2	豊かな学力と生きる力を育む教育の充実

めざす姿	家庭、学校、地域が連携して、豊かな学力と確かな育ちを保障する、安全で充実した教育環境の創出に努めるとともに、社会を生き抜く力や国際的な人材の育成など、社会情勢を鑑みた教育に取り組みます。 また、子どもから高齢者まで誰もがライフステージ、ライフスタイルに合った学びができる環境の充実に努め、生きる喜びを感じることのできるまちをめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	学校教育充実事業	担当部署	教育委員会 学校教育課・教育支援室		
実施方針	①学力向上対策推進事業、学園都市化構想連携協力推進事業、学校づくり計画推進事業、鳴門市学校・幼稚園防災対策事業 ②外国語教育推進事業、GIGAスクール構想推進事業	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			48,324	66,425	66,425
事業内容（R5）	①学力向上対策推進、学園都市化構想連携協力推進、学校づくり計画推進、鳴門市学校・幼稚園防災対策事業 ・「なると学力調査」導入事業および認知機能強化トレーニング実施事業の実施、学力向上推進委員会の開催、Q-Uアンケートの実施、理数オリンピックの開催、各学校への新聞の配備、学園都市化構想の推進、瀬戸中学校区での幼小中一貫教育の充実、コミュニティ・スクールの推進、学校防災推進会議および実務者会議の開催 ②外国語教育推進事業、GIGAスクール構想推進事業 ・小学校外国語支援員の配置、プロジェクト型学校間連携の推進、教員研修の充実、ふるさと鳴門英語カルタ作成、WeLoveNarutoコンテスト実施、イングリッシュキャンプ実施、オンライン英会話の導入、英語検定受験料全額補助事業、「学校のICT化に向けた5か年計画」に基づいた校内のICT環境の整備、ICTコラボチームでの研究・開発、「AIドリル」導入				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	全国学力・学習状況調査の平均正答率（小学校） 国語・算数　※（）の数値は全国平均	国語63(64.7) 算数69(70.2)	国語62(65.6) 算数62(63.2)	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	%
	全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学校） 国語・数学　※（）の数値は全国平均	国語65(64.6) 数学56(57.2)	国語70(69) 数学53(51.4)	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	%
	中学卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒数の割合	26.7	26.6	30	40	40	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	48,324	1,956	50,280

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業①

事業実施内容（R5）	①学力向上対策推進、学園都市化構想連携協力推進、学校づくり計画推進、鳴門市学校・幼稚園防災対策事業 ・学力向上対策推進においては、同一児童生徒の学力の伸び・変化を継続把握することに適した「なると学力調査」を実施するとともに、学習の土台となっている認知機能の5つの構成要素である記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断を伸ばすコグトレ（認知機能強化トレーニング）を実施した。学園都市化構想連携協力推進においては、学習支援サポーター8名及び部活動支援サポーター3名の派遣を行い、連携・協力を推進した。瀬戸中学校で体験入学を実施するなど、瀬戸中学校区での幼小中一貫教育の充実、コミュニティ・スクールの推進、学校防災推進会議および実務者会議を開催した。 ②外国語教育推進事業、GIGAスクール構想推進事業 ・小学校外国語支援員の配置、プロジェクト型学校間連携の推進、教員研修の充実、ふるさと鳴門英語カルタ作成・配布、WeLoveNaruto コンテスト実施、イングリッシュキャンプ実施、オンライン英会話モデル校実施、英語検定受験料全額補助事業、「学校のICT化に向けた5か年計画」に基づいた校内のICT環境の整備、ICTコラボチームでの研究・開発、「AIドリル」モデル校実施

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
全国学力・学習状況調査の平均正答率（小学校）国語・算数　※（）の数値は全国平均	国語62(65.6) 算数62(63.2)	国語62(67.2) 算数57(62.5)	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	%
目標達成率(実績/目標)		未達成	－	－	－	%

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学校）国語・数学　※（）の数値は全国平均	国語70(69) 数学53(51.4)	国語66(69.8) 数学46(51)	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	%
目標達成率(実績/目標)		未達成	－	－	－	%

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
中学卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒数の割合	26.6	40.7	43	45.5	48	%
目標達成率(実績/目標)		135.7	－	－	－	%

事業費推移（円）

年度		令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
計		51,043,681	0	46,529,204	46,529,204	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	280,000	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	23,499,570	0	0	0	0
	一般財源	27,264,111	0	46,529,204	46,529,204	0

◎評価（CHECK）

事業①

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価

指標名	全国学力・学習状況調査の平均正答率（小学校）国語・算数　※（）の数値は全国平均	
目標	全国平均以上	%
実績	国語62(67.2)算数57(62.5)	%
評価	D:目標を達成できなかった	
指標名	全国学力・学習状況調査の平均正答率（中学校）国語・数学　※（）の数値は全国平均	
目標	全国平均以上	%
実績	国語66(69.8)数学46(51)	%
評価	D:目標を達成できなかった	
指標名	中学卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒数の割合	
目標	30	%
実績	41	%
評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見

「学力向上実行プラン等」の作成・実施を通じて、学校ごとに教育活動の検証・改善を一層進めるとともに、各種学力向上施策を実施し、長期的な視点で学力の向上に努める。
「学力向上実行プラン等」の作成・実施を通じて、学校ごとに教育活動の検証・改善を一層進めるとともに、各種学力向上施策を実施し、長期的な視点で学力の向上に努める。
英語検定受験料全額補助事業等の取り組みにより英検受験者が大幅に増加し、これまで英検3級相当の実力を持ちながら英検を取得していなかった生徒の数が可視化され、目標数値を大きく上回った。

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

課題	①鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。 ・コミュニティ・スクール「鳴門モデル」推進に向けて継続的な支援を行う体制が必要である。 ・甚大な自然災害をはじめ、子どもたちの安全を脅かす事案は、いつ・どこでも起こり得るため、子どもの命を守ることを最優先にフェーズフリーなどの浸透をはかり、困難をしなやかに乗り越える防災力を育成する必要がある。 ・鳴門教育大学との連携のもと、教育・保育現場を支援する学生・院生によるボランティアを、就学前教育・保育、学力向上、課外活動、特別支援教育等様々な教育分野において、今後も継続していく。 ②ICT活用は全校で進んでいるが、中にはICT活用に苦手意識を持つ教員もおり、教員が受け持つ授業やクラスによってICT活用の頻度や程度に差ができてしまうことが懸念されている。今後、教員間のICT格差をなくしていくことに加え、取得した知識が授業に反映できるよう支援していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	
令和6年度	キャリア教育の充実等を図り、学びに向かう力を高めるとともに、授業改善を進め、子どもたちの学力の確実な定着に取り組む。その際、ICTを積極的に活用する。また、学力向上施策「なると うずっ子 学力向上パッケージ」を実施し、その成果と課題を検証する。
令和7年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	2	豊かな学力と生きる力を育む教育の充実

めざす姿	家庭、学校、地域が連携して、豊かな学力と確かな育ちを保障する、安全で充実した教育環境の創出に努めるとともに、社会を生き抜く力や国際的な人材の育成など、社会情勢を鑑みた教育に取り組みます。 また、子どもから高齢者まで誰もがライフステージ、ライフスタイルに合った学びができる環境の充実に努め、生きる喜びを感じることのできるまちをめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業②					
事業名	生涯学習推進事業	担当部署	教育委員会 総合教育人権課		
実施方針	①各種学級、公民館短期講座の充実 ②公民館活用の推進 ③放課後子供教室の実施 ④読書環境の充実	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			35,898	35,898	35,898
事業内容（R5）	①各種学級、公民館短期講座の充実 ・女性学級、成人学級、高齢者学級、公民館短期講座の実施 ②公民館活用の推進 ・地域の特色を活かした運営体制づくり ・学級運営の充実と適切な施設管理による利活用の促進 ③放課後子供教室の実施 ・放課後子供教室の活動内容の充実と指導者・活動場所の確保 ④読書環境の充実 ・まちなか絵本図書館の拡充				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	公民館利用人数	40,385	44,900	50,000	78,300	78,300	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	35,898	94	35,992

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	①女性学級7、成人学級5、高齢者学級9の計21学級を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員や公民館長のコーディネートのもと学級長を中心に自主的な学級運営を行った。社会教育指導員は、各学級に対し、講師の紹介や学習機器の貸し出し等を行い、学習のサポートに努めた。また、公民館短期講座では、ライフスタイル講座、歴史文化講座、スマートフォン講座の3学級を開設した。 ②管理業務の一部を地域団体に委託し、地域住民の意見を尊重した独自性を持った運営を行うとともに、公民館短期講座の継続実施（社会教育指導員及び館長と連携した学級運営）や快適な利用ができるよう必要な施設修繕等を実施した。 ③市内9小学校区で放課後子供教室を開設し、延べ495日実施、11,327人の子どもが利用した。また、放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後子供教室、放課後児童クラブ等の指導者を対象とした合同研修会を開催した。 ④広報7月号において開始から一周年の特集記事を掲載。年度内に、新しく6事業所と9公民館に設置し、計51カ所となった。また、寄付いただいた絵本や絵本回収BOXで回収した絵本・児童書を補修して、まちなか絵本図書館に配架した。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	公民館利用人数	45,969	61,520	67,500	72,500	78,300	人
	目標達成率(実績/目標)		123.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	35,073,687	0	33,790,525	33,790,525	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	120,000	120,000	0
	県支出金	3,824,000	0	3,622,000	3,622,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,281,842	0	637,519	637,519	0
	一般財源	29,967,845	0	29,411,006	29,411,006	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	公民館利用人数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、各種学級や講座、公民館でのイベント等も開催しやすくなり、利用者は前年度より増加し目標を達成させることができた。
	目標	50,000	人		
	実績	61,520	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	各種学級の運営については、社会教育指導員の助言・サポートが必要不可欠であり、事業の安定した継続には社会教育指導員の資質によるところが大きい。また、高齢化等により学級を閉鎖する地域もあり、学級を主導するリーダーの育成や講座の構成、内容、周知方法の見直しを常に行うことが大切である。 公民館については地域の社会教育の拠点として多くの市民に積極的に活用されているが、若い世代の利用が少ないなど、利用者に偏りが見られるため、さまざまな年齢や性別の方が利用できるような取組が必要である。施設の老朽化もあることから計画的な修繕等により、施設の長寿命化や利用者が快適に利用できる環境整備の構築が求められる。	
今後の方向性	□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	各種学級の講座の構成や内容について、学級長等の意見を聞きながら見直しを行い、受講生のニーズに沿った学級の開設をめざす。また、新たな受講生の参加が期待できる講座の開設に取り組むとともに、周知方法についてもより多くの市民の関心を引くことができるよう工夫に努める。公民館についても、引き続き地域団体に管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくりに努め、利用者のさらなる増加を目指す。まちなか絵本図書館については、啓発グッズを作成し、事業の浸透を図る。
	令和7年度	令和6年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	3	スポーツの推進

めざす姿	子どもには健やかな心身の育成と体力の向上を、大人には自らの健康づくりを目的として、子どもから高齢者までみんなで元気に楽しむスポーツのまちをめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	スポーツ活動推進事業	**担当部署**	市民生活部 スポーツ課		
	実施方針	①スポーツへの参加機会の拡充と環境の整備 ②スポーツ活動の支援と活性化の推進	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				12,223	12,223	12,223
	事業内容（R5）	①スポーツへの参加機会の拡充と環境の整備 ・鳴門市チャレンジデーや鳴門クロスカントリー大会等のスポーツイベントの開催 ・中学・高校運動部活動の競技力強化や就学前児童及び高齢者の運動能力向上支援を目的としたKOBA式体幹バランストレーニングの実施 ・幼児向けのマルチスポーツ推進事業 ・障がい者スポーツへの理解促進及び普及・啓発 ・新たなスポーツ施設の整備の検討 ②スポーツ活動の支援と活性化の推進 ・全国大会等出場激励制度 ・スポーツ少年団活性化事業				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	鳴門市チャレンジデーの参加率	59.3	60.5	60.0	60.0	60.0	%
	成人の週一回以上のスポーツ実施率（次回調査令和6年度）	46.0	－	－	65.0	－	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	12,223	△ 170	12,053

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	スポーツへの参加機会の拡充と環境の整備としては、鳴門市チャレンジデーや鳴門クロスカントリー大会等のスポーツイベントを開催したほか、KOBA式体幹バランストレーニングや幼児向けのマルチスポーツの実施、障がい者スポーツへの理解促進及び普及啓発などに取り組んだ。また、新たなスポーツ施設の整備に向けた検討を行った。 スポーツ活動の支援と活性化の推進については、鳴門市スポーツ競技全国大会等出場激励金交付要綱を4月1日に制定し、全国大会に出場する選手への激励を行ったほか、スポーツ少年団の活動を支援するため、各単位団の紹介パンフレットの作成や資格取得助成などに取り組んだ。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
鳴門市チャレンジデーの参加率	60.5	61.6	－	－	－	%
目標達成率(実績/目標)		102.7	―	―	―	%

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
成人の週一回以上のスポーツ実施率（次回調査令和6年度）	－	－	65.0	－	－	%
目標達成率(実績/目標)		―	―	―	―	%

事業費推移（円）

年度		令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	令和6年度への繰越額
計		6,931,500	0	9,361,136	9,361,136	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	315,500	0	3,000,000	3,000,000	0
	一般財源	6,616,000	0	6,361,136	6,361,136	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価

指標名	鳴門市チャレンジデーの参加率	
目標	60	%
実績	62	%
評価	A:目標を達成できた	
指標名	成人の週一回以上のスポーツ実施率（次回調査令和6年度）	
目標	－	%
実績	－	%
評価		

成果指標に対する所見

鳴門市チャレンジデーの参加率	市内スポーツ団体、地域団体が開催する「ローカルイベント」とテレビ鳴門や市公式ウェブサイトからの動画視聴による「リモートイベント」の両方を実施し、目標を達成することができた。
成人の週一回以上のスポーツ実施率（次回調査令和6年度）	令和5年度については、成人の週一回以上のスポーツ実施率の調査が未実施のため評価ができない。

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	令和5年度をもってチャレンジデー事業が終了となったことから、引き続き市民に根付いた運動習慣を継続させるための取り組みが必要であり、さらなるスポーツへの参加機会の拡充が求められる。また、令和5年度に開始した激励金制度について、対象となる選手へのもれがないよう引き続き周知に取り組む必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	チャレンジデー事業により地域に根付いた運動習慣を継続してもらうため、新たに「NARUTOスポーツデー」を実施し、引き続き気軽に運動参加ができる環境を整えるなど、スポーツへの参加機会の拡充を図る。 また、激励金制度については、改めて関係団体への案内などを通じてより一層の周知を図る。
	令和7年度	今年度の実施状況により次年度以降検討する。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	4	芸術・文化の振興

めざす姿	世界に誇れる「鳴門海峡の渦潮」、「四国遍路」、「板東俘虜収容所関係資料」をはじめとする、様々な文化資源の活用や文化振興を図ることにより、魅力あるまちづくりをめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	「なると第九」ブランド化推進事業	**担当部署**	市民生活部　文化交流推進課 教育委員会　学校教育課		
	実施方針	①「なると第九」ブランドの発信 ②「なると第九」の文化や歴史を学ぶ第九学習の推進 ③「第九」ｱｼﾞｱ初演の歴史を後世に引き継ぐ取組みの推進 ④教育旅行誘致の取組みの推進	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				36,695	36,695	36,695
	事業内容（R5）	①第39回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会を開催する。 ②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習を実施する。 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会を開催する。（全日本「第九を歌う会」連合会への委託事業） ④「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行生の誘致に取り組む。 ⑤ドイツ村公園のトイレ等を整備する。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	ドイツ館周辺への来訪者数	35,800	38,000	42,000	45,000	48,000	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	36,695	25	36,720

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①第39回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会を開催。 ②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習を実施。 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業特別講演会を開催。（全日本「第九を歌う会」連合会への委託事業） ④「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行生の誘致。 ⑤ドイツ村公園トイレ等を整備。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	ドイツ館周辺への来訪者数	43,535	47,811	50,000	50,000	50,000	人
	目標達成率(実績/目標)		113.8	－	－	－	%

事業費推移（円）		年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	令和6年度への繰越額
		計	936,726	0	34,187,820	34,187,820	0
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	23,700,000	23,700,000	0
		その他	920,000	0	6,353,000	6,353,000	0
		一般財源	16,726	0	4,134,820	4,134,820	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数		成果指標に対する所見	今年度は目標達成できたが、今後の目標を達成していくためにも、継続的に情報発信していく。
	目標	42,000	人		
	実績	47,811	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	「なると第九」ブランドの認知度の向上や誘致の促進、文化の振興につなげるため、市内外への情報発信や、次世代育成の効果的で効率的な方法について検討する。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	①第40回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会開催、第九関連イベントの実施。 ②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習の実施。 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業の実施。（全日本「第九を歌う会」連合会への委託事業） ④「第九の里なると」パンフレット等の作成。
	令和7年度	①第41回ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会開催、第九関連イベントの実施。 ②市内小学校における「第九」合唱指導及び現地学習の実施。 ③「なると第九」関連地や、その他観光地等を平和学習・体験学習に結び付けた修学旅行生の誘致。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	4	芸術・文化の振興

めざす姿	世界に誇れる「鳴門海峡の渦潮」、「四国遍路」、「板東俘虜収容所関係資料」をはじめとする、様々な文化資源の活用や文化振興を図ることにより、魅力あるまちづくりをめざします。

◎事業概要（PLAN）

事業②	**事業名**	文化財保存活用事業	**担当部署**	市民生活部　文化交流推進課		
	実施方針	①国指定重要文化財「福永家住宅」・国指定史跡「鳴門板野古墳群」・国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ②市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ③その他指定文化財等の保存管理と普及活用	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				8,637	8,637	8,637
	事業内容（R5）	①「福永家住宅保存活用計画」に基づき建物修理や整備活用を進める。 ②「鳴門板野古墳群」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ③「板東俘虜収容所跡」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ④収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。 ⑤普及活用事業として地域住民やボランティアと協働し、福永家住宅・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキング等を行う。 ⑥指定文化財の説明板を整備する。 ⑦緊急性の高い修繕事業を実施するなど環境整備事業を継続する。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	文化財公開事業への参加者数	195	350	500	650	800	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	8,637	△ 13	8,624

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	①重要文化財「福永家住宅」について、保存活用計画に基づき、必要な施設修繕や、一般公開などの活用事業を行った。 ②国指定史跡「鳴門板野古墳群」の一般公開や古墳ウォーキングを実施した。 ③重要文化財「木造弥勒菩薩坐像」防災設備設置事業に関し、計画段階から事業内容の調整に協力するとともに、国・県の補助事業に随伴した補助金支出を行った。 ④市指定「極楽寺の阿弥陀如来石仏」の周知啓発冊子を発行した。 ⑤「岡崎御屋敷跡」の文化財説明板及び、市指定「伝万七の墓碑」と市指定「極楽寺の線刻阿弥陀如来立像石仏」の標柱を設置するなど、地域文化財の周知活用を進めた。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	文化財公開事業への参加者数	370	672	700	800	800	人
	目標達成率(実績/目標)		134.4	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	令和6年度への繰越額
	計	7,667,632	0	6,516,768	6,516,768	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	33,000	0	33,000	33,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,634,632	0	6,483,768	6,483,768	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	文化財公開事業への参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き人出が戻りつつある中で、大代古墳の一般公開及び古墳ウォーキングでは合わせて191名の参加者があるなど、公開活用において一定の成果をあげた。
	目標	500	人		
	実績	672	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	史跡指定を受けた「鳴門板野古墳群」・「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けて取り組みを継続するとともに、環境整備事業や史跡を活用した周知啓発事業を継続していく必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	①「福永家住宅保存活用計画」に基づき建物修理や整備活用を進める。 ②「鳴門板野古墳群」・「板東俘虜収容所跡」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ③収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。 ④普及活用事業として地域住民やボランティアと協働し、福永家住宅・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキング等を行う。
	令和7年度	①「福永家住宅保存活用計画」に基づき建物修理や整備活用を進める。 ②「鳴門板野古墳群」・「板東俘虜収容所跡」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ③収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。 ④普及活用事業として地域住民やボランティアと協働し、福永家住宅・大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキング等を行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	1	豊かな人を育むまちづくり
実施計画名	5	国際・国内交流の推進

めざす姿	姉妹都市や友好都市との交流をより充実させることにより、国際理解を深めることや、交流人口の増加、文化や産業の振興につなげていきます。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	国際・国内交流事業	**担当部署**	市民生活部 文化交流推進課		
	実施方針	①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流を図る ②中国友好都市との交流を図る ③バングラデシュ・ナラヤンガンジ市との交流を図る ④国内親善都市会津若松市との交流を図る ⑤その他国外・国内都市との交流を推進する	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				3,771	3,771	3,771
	事業内容（R5）	①第23回リューネブルク市一般親善使節団を受入れ、両市民の交流の場を創出する。 ②第23回リューネブルク市青少年親善使節団の受入れ、次世代を担う人材育成を図る。 ③張家界市からの訪問団を受け入れるなど、相互交流事業を推進し、友好親善を図る。 ④バングラデシュ・ナラヤンガンジ市との連携を深め、交流の促進を目指す。 ⑤会津まつり等へ訪問し、交流親善を図る。 ⑥その他国外・国内都市との交流を推進する。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	国際交流員活用事業への参加者数	1,823	2,500	3,000	3,000	3,000	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	3,771	3,639	7,410

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①第23回リューネブルク市一般親善使節団を受入れ、両市民の交流の場を創出した。 ②第23回リューネブルク市青少年親善使節団の受入れ、次世代を担う人材育成を図った。 ③張家界市からの訪問団を受け入れるなど、相互交流事業を推進し、友好親善を図った。 ④バングラデシュ・ナラヤンガンジ市との連携を深め、交流の促進を目指した。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	国際交流員活用事業への参加者数	3,142	3,267	3,000	3,000	3,000	人
	目標達成率(実績/目標)		108.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	911,008	0	6,963,396	6,963,396	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	911,008	0	6,963,396	6,963,396	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	国際交流員活用事業への参加者数		成果指標に対する所見	国際交流員等が積極的に様々な市内イベント等において活動するとともに、ターゲットにあわせた広報媒体を活用して情報発信を行うことにより、多くの方々に参加いただくことができた。
	目標	3,000	人		
	実績	3,267	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	リューネブルク市親善使節団受入れ事業をはじめとした国際交流事業がコロナ禍を経て、4年ぶりに再開することができた。今後は、コロナ禍で定着したオンラインも活用しながら、積極的に国際交流の推進を図る必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	①第24回鳴門市姉妹都市親善使節団（一般・青少年）をリューネブルク市に派遣する。また、リューネブルク市との姉妹都市盟約締結50周年を記念した各事業を実施する。 ②張家界市からの訪問団を受け入れるなど、相互交流事業を推進し、友好親善を図る。 ③バングラデシュ・ナラヤンガンジ市との連携を深め、交流の促進を目指す。 ④会津まつり等へ訪問し、交流親善を図る。 ⑤その他国外・国内都市との交流を推進する。
	令和7年度	①第24回リューネブルク市一般親善使節団を受入れ、両市民の交流の場を創出する。 ②第24回リューネブルク市青少年親善使節団の受入れ、次世代を担う人材育成を図る。 ③張家界市からの訪問団を受け入れるなど、相互交流事業を推進し、友好親善を図る。 ④バングラデシュ・ナラヤンガンジ市との連携を深め、交流の促進を目指す。 ⑤会津まつり等へ訪問し、交流親善を図る。 ⑥その他国外・国内都市との交流を推進する。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	1	計画的な土地利用と都市拠点整備の充実

めざす姿	本市の将来の発展動向を踏まえ、自然環境との調和のもと、鳴門中心部ではコンパクトにまとまった都市機能の立地を促すとともに、安全で安心できる居住地形成を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	四国のゲートウェイ推進事業	担当部署	産業振興部 観光振興課 企画総務部 戦略企画課
実施方針	①四国内外からの交流人口の増加 ②市内の賑わい創出	事業費推移（千円）	令和5年度 10,700 令和6年度 10,700 令和7年度 10,700
事業内容（R5）	①四国のゲートウェイ推進イベントの共催 ・民間団体等と四国内外から集客できるイベントを共催 ②イルミネーション設置補助事業 ・民間団体等が実施するイルミネーション事業に対し補助金を交付 ③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業 ・本プロジェクトの中核施設とし設置された交流拠点施設（ゲート）が実施する施設整備・改修・イベント等に対し補助金を交付		

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	交流人口の数（イベント・イルミネーション）	31,800	19,200	30,000	40,000	40,000	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	10,700	0	10,700

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）		**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** 四国内外からの交流人口の増加を図るため、鳴門板野青年会議所と共催でキッチンカー等が出店する「F.A.F　フードアートフェスタ」を開催した。 **②イルミネーション設置補助事業** 市内の賑わいづくりを図るため、市所有のLED等イルミネーション機器を民間団体へ貸し出すとともに、イルミネーションを実施する団体等に対して補助金を交付した。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** 本プロジェクトを推進するため、南ゲートに位置付けている農産物直売所「えがお」において、売り場環境の機能強化を図るための事業を行う大津松茂農業協同組合に対して補助金を交付するとともに、中央ゲートに位置付けている観光情報センターにおいて、賑わい創出を図るためのイベントや「情報発信」「案内」等の機能の向上を図る設備改修事業を行う鳴門市観光コンベンション㈱へ補助金を交付した。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	交流人口の数（イベント・イルミネーション）	15,000	29,058	40,000	40,000	40,000	人
	目標達成率(実績/目標)		96.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
				前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計		6,179,000	0	9,696,000	9,696,000	0
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	6,179,000	0	8,700,000	8,700,000	0
		一般財源	0	0	996,000	996,000	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
	成果指標に対する評価	指標名	交流人口の数（イベント・イルミネーション）	成果指標に対する所見	各事業については計画どおり実施することができ、概ね目標を達成することができた。
		目標	30,000　人		
		実績	29,058　人		
		評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** 四国外からの集客をより増加させる必要があるため、情報発信方法の見直し・改善を実施すること。 **②イルミネーション設置補助事業** 単なるイルミネーションの設置だけにとどまらないよう、イベント等ナイトタイムコンテンツとの相乗効果を狙った事業とすること。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** 事業効果を高められるよう、制度の活用にあたっては引き続き交流拠点施設（ゲート）を運営する事業者と十分に協議を行い、事業計画段階からの支援に努めること。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** ・民間団体等と四国内外から集客できるイベントを共催する **②ナイトタイムコンテンツ造成推進事業補助金** ・事業者及び団体等が実施するナイトタイムコンテンツ造成事業に対し補助金を交付する **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** ・交流拠点施設（ゲート）が実施する施設整備や改修、本プロジェクトを推進するために実施されるイベント等に対し補助金を交付する
	令和7年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	2	持続可能な公共交通網の実現

めざす姿	人口減少及び高齢化の進行に伴い多様化する利用者ニーズや地域特性に適応した公共交通サービスを提供するとともに、若い世代などの公共交通の利用が少ない年齢層の利用を促進し、持続可能な公共交通ネットワークの実現に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	公共交通対策事業	**担当部署**	企画総務部 地域交通推進室		
	実施方針	「鳴門市地域公共交通計画」に掲げる基本方針に基づき、同計画の3つの目標①最大効率による持続可能な公共交通体系の構築、②利用者ニーズに適応した公共交通サービスの提供、③新たな需要の創出に向けた公共交通利用の促進を達成するために必要な事業を実施する。	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				168,838	168,838	168,838
	事業内容（R5）	①路線の乗り継ぎなど運行調整による利便性向上 ・円滑な移動に向けた関係機関・交通事業者との連携 ②新たな運行形態の導入 ・交通空白地域における新たな移動手段について導入検討 ③地域で支える意識の醸成 ・交通事業者と連携した公共交通機関の利用促進に向けた取組みの実施				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	地域バス及び徳島バス路線（自社路線+協定路線）乗車人数	354,149	—	420,000	453,000	486,000	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	168,838	1,384	170,222

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	・地域バス（3路線）、徳島バス協定路線（4路線）の運行を実施した。 ・徳島バス小鳴門橋バス停廃止に伴うボートレース鳴門への乗り入れや高速鳴門バス停前の新設、徳島バス路線の全便鳴門駅への乗り入れ等を行い、公共交通機関の利便性の向上を図った。 ・㈱鳴門自動車教習所と協定を締結し、交通空白地域矢倉地区の高齢者等を輸送する「鳴門市企業等送迎車両活用モデル実証事業」を実施し、交通空白地域の解消及び既存の公共交通の利用促進などに努めた。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	地域バス及び徳島バス路線（自社路線+協定路線）乗車人数	431,293	522,524	453,000	486,000	519,000	人
	目標達成率(実績/目標)		124.4	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	165,959,721	0	166,915,103	166,915,103	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	835,162	0	914,893	914,893	0
	一般財源	165,124,559	0	166,000,210	166,000,210	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	地域バス及び徳島バス路線（自社路線+協定路線）乗車人数		成果指標に対する所見	徳島バス路線の全便鳴門駅乗り入れや矢倉地区での高齢者輸送事業の実施などにより、当初の目標を達成することができた。
	目標	420,000	人		
	実績	522,524	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	新型コロナウイルスにより減少した利用者は回復傾向にあるものの、人口減少やモータリゼーションの進展により公共交通を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。交通事業者においても運転者不足等の問題を抱えており、多様化する利用者ニーズや地域特性に適応した公共交通サービスを提供するため、地域公共交通計画に基づき、持続可能な公共交通ネットワークの実現に努める必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	地域公共交通計画に基づき、限られた財源や人材を有効活用し、公共交通空白地帯の解消に向けた取り組みを検討する。
	令和7年度	継続

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	住環境整備事業	担当部署	都市建設部 まちづくり課		
実施方針	①公営住宅の計画的な改善等の推進 ②木造住宅の耐震化促進 ③住環境向上・良好な住宅ストック形成の促進 ④老朽化し危険な空き家の除却促進	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			105,750	105,750	105,750
事業内容（R5）	①公営住宅改善事業 ・公営住宅等長寿命化計画に基づく長寿命化改善・維持管理等の実施 ②木造住宅耐震化促進事業 ・耐震診断・耐震改修等への支援 ③住宅安心リフォーム支援事業 ・住宅リフォームへの支援 ④老朽危険空き家等除却支援事業 ・老朽危険空き家の除却支援				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	空き家除却実施戸数（補助・減免によるもの）	31	25	35	35	35	戸

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	105,750	△ 14,103	91,647

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①公営住宅改善事業 ・公営住宅等長寿命化計画に基づく長寿命化改善・維持管理等の実施 ②木造住宅耐震化促進事業 ・耐震診断・耐震改修等への支援 ③住宅安心リフォーム支援事業 ・住宅リフォームへの支援 ④老朽危険空き家等除却支援事業 ・老朽危険空き家の除却支援	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	空き家除却実施戸数（補助・減免によるもの）	25	33	35	35	35	戸
	目標達成率(実績/目標)		94.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	105,354,838	10,448,800	61,557,916	72,006,716	11,930,400
財源内訳	国庫支出金	33,572,000	4,746,000	23,957,000	28,703,000	6,070,000
	県支出金	10,395,450	2,851,200	6,119,800	8,971,000	3,246,600
	地方債	38,900,000	0	15,500,000	15,500,000	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	22,487,388	2,851,600	15,981,116	18,832,716	2,613,800

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	空き家除却実施戸数（補助・減免によるもの）		成果指標に対する所見	目標までは少し届かなかったが、前年度よりも多く空き家除却の支援を行うことができた。
	目標	35	戸		
	実績	33	戸		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	・公営住宅改善事業については、公営住宅等長寿命化計画に基づき、段階的に適切な改修等を検討していく必要がある。 ・各支援制度は、継続的な需要があるため、多くの方に事業を活用いただけるよう、国・県へ事業数の確保を要望していく必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善 □ 3.現状維持 ☑ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	・公営住宅改善事業については、桑島第2団地A棟浴室等改修を実施する。 ・各支援制度を引き続き実施しつつ、制度のさらなる周知を図る。また、国・県制度の動向を注視しながら、ニーズに合わせた制度拡充を検討していく。
	令和7年度	・R6年度に生じた課題に対し、改善を行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

◎事業概要（PLAN）

事業②	**事業名**	道路・河川整備事業	**担当部署**	都市建設部 土木課		
	実施方針	①道路舗装修繕計画に基づき、主要な市道の舗装補修を実施 ②地域住民の要望に基づき、緊急性の高いものを中心に河川整備を実施	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				171,800	170, 000	170,000
	事業内容（R5）	①トリプルR事業（道路舗装修繕計画に基づく舗装補修工事） ・高畑萩原線　・樋殿谷線 ・椎尾谷線　　・川崎池谷線 の4路線の舗装補修工事を実施。 ②地域要望を精査し、以下の地区を中心に全9箇所の河川改良・補修工事に着手予定。 ・南浜地区　・徳長地区 ・高島地区　・立岩地区 ・板東地区				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	道路網および河川の整備率	100	100	100	100	100	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	171,800	19,150	190,950

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②		
	事業実施内容（R5）	①トリプルR事業（道路舗装修繕計画に基づく舗装補修工事） 計画どおり、下記の4路線の舗装補修工事を実施した。 ・高畑萩原線　・樋殿谷線　・椎尾谷線　・川崎池谷線 ②地域要望を精査し、市内全域で河川改良・補修工事を実施 明神地区排水路改良工事 高島地区排水路改良工事 南浜排水路改良工事 徳長排水路改良工事 島田地区護岸改良工事 大谷川護岸改良工事（※緊急） 板東地区排水路改良工事

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	道路網および河川の整備率	100	100	100	100	100	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	161,320,667	8,378,500	180,960,401	189,338,901	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	3,650,000	3,650,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	64,000,000	0	53,300,000	53,300,000	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	97,320,667	8,378,500	124,010,401	132,388,901	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	道路網および河川の整備率		成果指標に対する所見	計画通りに、樋殿谷線と椎尾谷線の舗装補修を完了させることができ、高畑萩原線と川崎池谷線は、継続して、計画的に舗装補修を実施する。 要望に対して内容を精査し、計画に基づき事業の実施ができた。今後も計画的に事業の実施に努める。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
	課題	①道路舗装修繕計画に基づく舗装補修において、活用している社会資本整備総合交付金の内示率が今後も低い場合、交付金の内示額相当の発注となるため、事業の進捗に遅れが生じる可能性がある。 ②地域住民から、未整備水路の整備や老朽化した水路の改修などの要望が多く寄せられている。 このため、地域の現状などを検討し計画的に整備を進めたい。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	①道路舗装修繕計画において、優先順位の高い路線から順次、舗装補修工事に着手する。 ②要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。
	令和7年度	①道路舗装修繕計画において、優先順位の高い路線から順次、舗装補修工事に着手する。 ②要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

◎事業概要（PLAN）

事業③	**事業名**	公園活用推進事業	**担当部署**	都市建設部 公園緑地課		
	実施方針	①子どもを対象とした事業の実施 ②公園利用者を拡大する事業の実施	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				4,131	4,131	4,131
	事業内容（R5）	①子どもを対象とした事業の実施 ・U－10フットサル大会 ・児童画作品コンクール展 ・鳴門ウチノ海総合公園季節イベント　夏・冬パーク ②公園利用者を拡大する事業の実施 ・端午の節句、ひなまつり、パークセンターギャラリー ・婚活イベント				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	活動（イベント）への参加人数	1,650	1,910	10,000	10,000	10,000	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	4,131	△ 297	3,834

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業③		
事業実施内容（R5）	①U-10フットサル大会は中止となったが、児童画作品コンクール展と鳴門ウチノ海総合公園季節イベントは開園20周年に合わせた事業として実施。 ②端午の節句、ひなまつり、婚活イベントは中止。パークセンターギャラリーは「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」と連携して実施。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	活動（イベント）への参加人数	1,910	9,761	10,000	10,000	10,000	人
	目標達成率(実績/目標)		97.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	88,000	0	3,683,006	3,683,006	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	88,000	0	3,683,006	3,683,006	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

事業③	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	活動（イベント）への参加人数		成果指標に対する所見	コロナウイルスが5類になったことによりその影響が緩和し、大型イベントが開催できたことにより概ねの目標達成ができた。今後も子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントの実施を模索していく。
	目標	10,000	人		
	実績	9,761	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業③		
課題	鳴門ウチノ海総合公園の活用を推進するためには、利用者ニーズへの適切な対応が公園の利用増につながるため、モニタリングを通じて利用者ニーズの把握・分析を行うとともに、「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」の意見も聞きながら、業務改善や新たな企画を立案していく必要がある。 また、イベントを開催するにあたっては、事故やけがをしないように十分に注意をはらうと共に、公園施設の日常点検等を実施して、安全管理の強化に努め、事故防止を徹底することが重要である。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	状況に合わせたイベントを実施するとともに、子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントを模索していく。
	令和7年度	状況に合わせたイベントを実施するとともに、子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントを模索していく。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

◎事業概要（PLAN）

事業④	**事業名**	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	**担当部署**	企業局 水道企画課・水道事業課		
	実施方針	水道事業の根幹となる浄水場を、南海トラフ地震等に備えた防災対策を講じる必要があることから、下記の方針のもと整備を実施 ① 鳴門市浄水場を耐震性のある災害に強い施設に更新 ② 老朽化が進む浄水場の更新を、北島町と共同で実施	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				2,565,734	3,457,777	1,708,267
	事業内容（R5）	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ① 整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式） 　主な整備内容は、浄水処理棟・管理棟の躯体工事など ② 整備事業の施工監理業務				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	浄水場の更新	詳細設計・建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	2,565,734	0	2,565,734

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業④		
事業実施内容（R5）	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ① 整備事業（DB方式）の建設工事のうち浄水処理棟、管理棟、 着水井設備棟などの躯体工事や、河川横断推進工事などを実施 ② 整備事業の施工監理業務	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	浄水場の更新	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	供用開始建設工事（既設施設撤去等）の実施	
	目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	2,261,823,300	0	2,565,733,500	2,565,733,500	0
財源内訳	国庫支出金	545,226,000	0	515,054,000	515,054,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	545,200,000	0	650,300,000	650,300,000	0
	その他	1,171,345,300	0	1,400,134,800	1,400,134,800	0
	一般財源	52,000	0	244,700	244,700	0

◎評価（CHECK）

事業④	今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	浄水場の更新	成果指標に対する所見	建設工事を当初の計画通りに進捗
	目標	建設工事等の実施		
	実績	建設工事等の実施		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業④		
課題	現施設を稼働しながら新施設を建設（複雑な工程、限られた敷地活用） 工期の遵守（施工時期の制限など） 資材等の高騰への対応 供用開始後の共同浄水場の維持管理（北島町と共同で運転管理）	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式）を実施 ②整備事業の施工監理業務
	令和7年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式）を実施 ②整備事業の施工監理業務

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	3	快適で暮らしやすい都市環境の整備

めざす姿	良好な住宅市街地の形成や、公園、河川、上下水道など、都市環境の計画的な整備と維持管理、長寿命化に努めます。また、良好な景観形成など、魅力的で潤いのあるまちづくりを進めます。

◎事業概要（PLAN）

事業⑤	**事業名**	公共下水道整備・合併処理浄化槽普及促進事業	**担当部署**	都市建設部 下水道課		
	実施方針	【1】汚水下水道事業 ①下水道管渠整備の推進 【2】雨水下水道事業 ②災害の未然防止に向けた施設の耐震・耐津波化 ③ストックマネジメント計画に基づいた適正な維持管理 【3】合併処理浄化槽普及促進事業 ④合併処理浄化槽への転換促進	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				526,982	534,672	534,672
	事業内容（R5）	【1】汚水下水道事業 ①下水道管渠整備の推進・・・第3期事業計画区域の整備の推進、供用開始区域拡大による下水道普及率の向上 【2】雨水下水道事業 ②施設の耐震・耐津波化・・・ポンプ場施設の耐震・耐津波化対策事業の実施 ③ストックマネジメント計画による維持管理・・・ストックマネジメント計画に基づくポンプ場および管渠の長寿命化対策の実施 【3】合併処理浄化槽普及促進事業 ④合併処理浄化槽への転換促進・・・合併処理浄化槽への転換補助の実施				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	下水道普及率	11.0	11.5	12.0	12.6	13.1	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	526,982	284,465	811,447

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業⑤		
事業実施内容（R5）	【1】汚水下水道事業 ①国庫補助金（社会資本整備交付金）を活用し、第3期事業区域の管渠整備に取り組んだ。 【2】雨水下水道事業 ②耐震化対策の優先度の高いポンプ場施設の耐震化工事に取り組んだ。 ③国庫補助金（社会資本整備交付金）を活用し、ストックマネジメントに基づく管渠の老朽化対策に取り組んだ。 【3】合併処理浄化槽普及促進事業 ④合併処理浄化槽の転換補助金の金額を令和5年度より増額し、転換事業を推進した。 ⑤パンフレットやウェブサイトを利用した転換事業の普及や、県と連携した出前授業による啓発活動を行った。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	下水道普及率	11.6	11.8	12.6	13.1	13.7	%
	目標達成率(実績/目標)		98.1	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	612,741,444	275,142,500	254,127,808	529,270,308	276,767,000
財源内訳	国庫支出金	238,265,050	117,027,300	85,883,050	202,910,350	116,041,950
	県支出金	1,815,000	0	5,850,000	5,850,000	0
	地方債	345,300,000	109,200,000	141,500,000	250,700,000	76,100,000
	その他	13,631,725	21,204,679	14,285,000	35,489,679	0
	一般財源	13,729,669	27,710,521	6,609,758	34,320,279	84,625,050

◎評価（CHECK）

事業⑤	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	下水道普及率		成果指標に対する所見	一部事業が繰越となったが、下水道普及率の達成状況からB評価とした。
	目標	12.0	%		
	実績	11.8	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業⑤		
課題	【1】汚水下水道事業 事業を効率的かつ効果的に実施するには、安定的な国庫補助金等の財源確保が重要であり、課題である。 【2】雨水下水道事業 災害時の機能停止を防止するためには、早期に地震対策や浸水対策の目的を達成する必要があるが、事業規模が大きいため国庫補助金等の財源確保が課題となっている。 【3】合併処理浄化槽普及促進事業 合併処理浄化槽の転換は、個人負担を伴うことや設置スペースの確保など問題点も多く、事業推進には制度の周知と水環境に対する理解向上が必要である。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	【1】汚水下水道事業 事業計画や国庫補助の内示額を基準とし、第3期事業区域の下水道整備を進める。 【2】雨水下水道事業 優先度の高い施設から耐震化や老朽化対策を実施するとともに、災害の未然防止や施設の適正な維持管理を行う。 【3】合併処理浄化槽普及促進事業 水環境の改善を目的とした、合併処理浄化槽の転換や普及啓発活動に取り組む。
	令和7年度	【1】汚水下水道事業 事業計画や国庫補助の内示額を基準とし、第3期事業区域の下水道整備を進める。 【2】雨水下水道事業 優先度の高い施設から耐震化や老朽化対策を実施するとともに、災害の未然防止や施設の適正な維持管理を行う。 【3】合併処理浄化槽普及促進事業 水環境の改善を目的とした、合併処理浄化槽の転換や普及啓発活動に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	4	移住・定住の促進

めざす姿	令和7（2025）年度までを「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置付け、「子どもファースト」の視点から各種施策を積極的かつ包括的に推進し、県内随一の子育て応援都市と子育て世代の定住人口の確保をめざします。また、移住を希望する人に対し、移住交流支援センターを中心としたワンストップ支援体制のもと、将来的な移住・定住を推進します。 さらに定住に関しては、若年層や子育て世帯へのアプローチを強化し、将来のまちづくりに欠かせない世代の流出を抑制していきます。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	移住交流促進事業	**担当部署**	産業振興部 商工政策課		
	実施方針	①「移住交流支援センター」等における移住相談業務の実施 ②ウェブメディアの積極的な活用による若年層に向けた情報発信 ③「半農半X」「移住起業」の推進など、移住交流促進に向けたブランディング ④「移住交流PR大使」との連携	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				7,788	7,788	7,788
	事業内容（R5）	①「移住交流支援センター」等における移住相談業務の実施 ・移住希望者に対してワンストップ窓口により、暮らしの情報や各種支援制度などを案内 ・徳島県等が主催する移住相談会に参加 ②「半農半X」の推進 ・2週間程度の農業体験を行うシェアハウス事業や体験ツアーを実施 ③移住起業の推進 ・オンライン講座や短期移住起業合宿などアカデミー事業を実施 ④若年層に向けた情報発信 ・「移住交流PR大使」との連携 ・移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」による情報発信				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	移住者数（転入者アンケート集計数）	315	320	330	370	380	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	7,788	2,132	9,920

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	・「移住交流支援センター」において、暮らしの情報や各種支援制度の案内など、移住希望者の相談業務を実施した。 ・「おいでや！いなか暮らしフェア2023」をはじめ、各種移住相談会に参加した。 ・全国から参加者を募集し、2週間の農業体験を行う「半農半X」推進シェアハウス事業を「鳴門らっきょ編」「なると金時編」の2回実施した。 ・オンライン講座や本市での短期合宿を行う移住起業アカデミー「NARUTO BOOT CAMP」を開催した。 ・「移住交流PR大使」である里崎智也氏のYouTube「里崎チャンネル」で本市の魅力をPRした。 ・移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」をはじめ、WEBメディアを積極的に活用し、情報発信を行った。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	移住者数（転入者アンケート集計数）	356	453	370	380	390	人
	目標達成率(実績/目標)		137.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	6,883,704	0	4,817,097	4,817,097	0
財源内訳	国庫支出金	4,193,600	0	0	0	0
	県支出金	1,200,000	0	450,000	450,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	200,000	0	155,000	155,000	0
	一般財源	1,290,104	0	4,212,097	4,212,097	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	移住者数（転入者アンケート集計数）		成果指標に対する所見	コロナ禍等による地方移住への関心の高まりやWEBメディアを活用した積極的な情報発信により、目標を達成できた。
	目標	330	人		
	実績	453	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	移住のメインターゲットとなる20代～30代の若年層へのアプローチには、WEBメディアを活用した情報発信が有効であり、移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」の更なる認知拡大が重要である。 「半農半X」推進シェアハウス事業は、参加者・受け入れ農家ともに満足度の高い事業となっているが、参加人数を拡大するためには、受入れ農家数を増やす必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善 □ 3.現状維持 ☑ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	・「移住交流支援センター」における移住相談業務の実施、徳島県等が主催する移住相談会への参加 ・「移住交流PR大使」との連携や移住系大手民間サイト等とのメディアミックスなど、移住専用WEBサイト・Instagram「NARUTO.3RD」での積極的な情報発信 ・「半農半X」推進シェアハウス事業及び移住起業アカデミー「NARUTO BOOT CAMP」の実施 ・「(株)おてつたび」と連携した新たな移住体験プログラムの開発
	令和7年度	・前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	4	移住・定住の促進

めざす姿	令和7（2025）年度までを「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置付け、「子どもファースト」の視点から各種施策を積極的かつ包括的に推進し、県内随一の子育て応援都市と子育て世代の定住人口の確保をめざします。また、移住を希望する人に対し、移住交流支援センターを中心としたワンストップ支援体制のもと、将来的な移住・定住を推進します。 さらに定住に関しては、若年層や子育て世帯へのアプローチを強化し、将来のまちづくりに欠かせない世代の流出を抑制していきます。

◎事業概要（PLAN）

事業②	**事業名**	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業（再掲）	**担当部署**	こども未来創造部 子育て支援課、健康福祉部 健康増進課・社会福祉課、企画総務部 戦略企画課、教育委員会 教育総務課・学校教育課		
	実施方針	令和4年度から7年度までの4年間を「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置づけ、出会い・結婚・新生活、妊娠・出産、就学前から高校、住宅取得の各ステージの子育て世代を包括的にサポートする「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」をスタートした。 本市が県内随一の子育て応援都市に生まれ変わり、子育て世代の定住人口の確保を実現していくための切り札として、強力に推進していきます。	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				325,441	362,065	381,772
	事業内容（R5）	①住宅取得 ・なると定住促進住宅取得補助金 ②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産 ・地域婚活支援事業補助金　・地域婚活支援重点事業　・なると結婚新生活支援補助金　・なると新婚世帯家賃補助金 ・赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト）　・子育て世代のライフプランニング応援事業 ・新生児出産祝い金事業　・不育治療支援事業　・多胎妊婦健康診査支援事業　・妊娠判定受診費用助成事業　・不妊治療助成事業 ③就学前・小学生・中学生 ・鳴門市版児童手当特例給付事業　・第2子保育料無償化事業　・2歳児保育料無償化事業　・就学前の障がい児発達支援無償化事業 ・病児・病後児保育広域利用助成事業　・ファミリーサポートセンター利用料助成事業　・小中学校等入学祝い金　・新1年生ランドセル無償化事業 ・中3生応援給食費無償化事業 ④高校生など ・子育て応援手当事業　・高校生等医療費助成事業　・鳴門市奨学金制度				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	出生児童数	245	240	250	270	300	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	325,441	1,267	326,708

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	①住宅取得　・なると定住促進住宅取得補助金（99名） ②出会い・結婚・新生活・妊娠前・妊娠・出産 ・地域婚活支援事業補助金（3件）　・地域婚活支援重点事業（1回実施・16名参加）　・なると結婚新生活支援補助金（27名）　・なると新婚世帯家賃補助金（71名）　・赤ちゃん授業（未来のﾊﾟﾊﾟﾏﾏ応援ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）2回実施・202名参加　・子育て世代のﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ応援事業（ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝｾﾐﾅｰ3回実施・のべ114名参加）　・新生児出産祝い金事業（給付率100%・193名に給付）　・不育治療支援事業（のべ4名）　・多胎妊婦健康診査支援事業（0）　・妊娠判定受診費用助成事業（のべ6名）　・不妊治療助成事業（のべ84名） ③就学前・小学生・中学生 ・鳴門市版児童手当特例給付事業（68名）　・第2子保育料無償化事業（のべ345月分）　・2歳児保育料無償化事業（のべ425月分）　・就学前の障がい児発達支援無償化事業（のべ21名）　・病児・病後児保育広域利用助成事業（のべ38名）　・ファミリーサポートセンター利用料助成事業（144名）　・小中学校等入学祝い金（給付率96.1%、対象者795名のうち764名）　・新1年生ランドセル無償化事業（申請率98%・対象者303名のうち297名）　・中3生応援給食費無償化事業（のべ4,810人） ④高校生など　・子育て応援手当事業（給付率97.2%、対象者1,377名のうち1,339名）　・高校生等医療費助成事業（3名）　・鳴門市奨学金制度（48名）

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	出生児童数	250	199	220	240	270	人
	目標達成率(実績/目標)		79.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	87,611,180	0	304,501,241	304,501,241	0
財源内訳	国庫支出金	57,560,000	0	1,440,000	1,440,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	45,050,000	45,050,000	0
	一般財源	30,051,180	0	258,011,241	258,011,241	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	出生児童数		成果指標に対する所見	子育て世帯からは施策に対する高い評価を得ている一方で、出生数は、コロナ禍による婚姻数の減少等の影響もあり、年々減少傾向となっており、効果が現れるまでには一定期間を要すると考えられる。若者の出会いやライフプラン支援に関する事業など、現状の課題に即した施策展開が求められる。
	目標	250	人		
	実績	199	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題		給付金事業は、90～100%の高い給付率を達成しており、その他の事業においても、子育て世帯へのアンケート調査結果によると一定の高い評価を得ているが、利用者や参加者をより増やせるよう、事業の周知広報やPRについて、その手法の検討や工夫に注力する必要がある。また、各事業の効果検証や対象者のニーズを踏まえ、事業の選択、拡充、改善を行っていく必要がある。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☐ 3.現状維持　☑ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	令和5年度事業に加え、下記事業を追加・拡充 【追加】①結婚応援セミナー②結婚支援アイデアコンテスト（入賞ｱｲﾃﾞｱを一部事業化）③葉酸摂取サポート(妊娠を希望する方に葉酸ｻﾌﾟﾘﾒﾝﾄを配布）④乳幼児ねんねケア事業（乳幼児の睡眠改善のｱﾄﾞﾊﾞｲｽが受けられるアプリを希望者に提供）⑤おむつ・粉ミルク等無償宅配（0～2歳児を在宅で育児する世帯に無償宅配）⑤ママのための学び舎（子育て中ﾏﾏのｷｬﾘｱｱｯﾌﾟを応援）⑥市内企業おしごと体験（市内小学・中学生を対象に職業体験ｲﾍﾞﾝﾄを開催）⑦インフルエンザ予防接種費助成（中3・高3生を対象に1人1回無料接種） 【拡充】①保育料無償化（認可保育施設・市内認可外保育施設の保育料を0歳から完全無償化）
	令和7年度	継続して事業を実施する。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	5	環境にやさしいまちづくり

めざす姿	市民・事業者・行政が一体となった地球温暖化防止策や、環境保全意識の醸成などに取り組むとともに、豊かな自然環境の保全、公害など環境汚染の対策に努めます。また、ごみの減量化を推進し、家庭や事業所から発生する廃棄物の分別徹底や、適正処理の促進に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	環境保全推進事業	**担当部署**	環境共生部 環境政策課		
	実施方針	①水質浄化対策 ②環境保全意識の醸成 ③再生可能エネルギー導入目標の策定 ④特定外来生物の防除 ⑤公害や環境に関する苦情に関する対応	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				22,398	24,818	9,693
	事業内容（R5）	①水質浄化対策 ・各地区へのEM活性液培養資材の提供と市内各所での水質調査の実施 ②環境保全意識の醸成 ・緑のカーテン作成用ゴーヤ苗の希望者への配布と環境学習館での各種講座の開催 ③再生可能エネルギー導入目標の策定 ・地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定に向けて再生可能エネルギー導入目標を策定 ④特定外来生物の防除 ・アルゼンチンアリ、ナガエツルノゲイトウ、セアカゴケグモ等の防除 ⑤公害や環境に関する苦情に関する対応 ・電話対応や現地訪問による指導等				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	19,865	20,023	20,023	20,023	20,023	t

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	22,398	899	23,297

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①水質浄化対策 ・各地区へのEM活性液培養資材の提供と市内各所での水質調査の実施 ②環境保全意識の醸成 ・緑のカーテン作成用ゴーヤ苗の希望者への配布と環境学習館での各種講座の開催 ③再生可能エネルギー導入目標の策定 ・地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定に向けて再生可能エネルギー導入目標案を策定 ④特定外来生物の防除 ・アルゼンチンアリ、ナガエツルノゲイトウ、セアカゴケグモ等の防除 ⑤公害や環境に関する苦情に関する対応 ・電話対応や現地訪問による指導等	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	17,760	16,581	20,023	20,023	未定	t
	目標達成率(実績/目標)		120.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	6,553,790	0	19,395,082	19,395,082	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
財源内訳	県支出金	0	0	0	0	0
財源内訳	地方債	0	0	0	0	0
財源内訳	その他	2,379,000	0	10,110,000	10,110,000	0
財源内訳	一般財源	4,174,790	0	9,285,082	9,285,082	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）		成果指標に対する所見	温室効果ガス排出量を目標値以下に抑えることができた。
	目標	20,023	t		
	実績	16,581	t		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	①水質浄化対策 ・事業による効果測定が困難である。 ②環境保全意識の醸成 ・コロナ禍で減少した参加者の増加を図る必要がある。 ③再生可能エネルギー導入目標の策定 ・国目標と市の現計画の目標に乖離がある。 ④特定外来生物の防除 ・一度侵入されると根絶は困難である。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	①水質浄化対策：取り組みを実施する地区増加に向けた働きかけや周知啓発を推進する。 ②環境保全意識の醸成：新規講座の実施や内容の見直しを検討し、参加者の増加を図る。 ③再生可能エネルギー導入目標の策定：国目標に準じた目標を設定し、目標達成に向けた取り組みを推進する。 ④特定外来生物の防除：生息範囲が広がらないよう防除活動に努める。
	令和7年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	2	持続発展可能なまちづくり
実施計画名	5	環境にやさしいまちづくり

めざす姿	市民・事業者・行政が一体となった地球温暖化防止策や、環境保全意識の醸成などに取り組むとともに、豊かな自然環境の保全、公害など環境汚染の対策に努めます。また、ごみの減量化を推進し、家庭や事業所から発生する廃棄物の分別徹底や、適正処理の促進に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業②	**事業名**	ごみ対策事業	**担当部署**	環境共生部 環境政策課		
	実施方針	①ごみの減量や再資源化を図る ②ごみの発生抑制や減量、再利用、再資源化について啓発を行う	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				81,444	81,444	81,444
	事業内容（R5）	①ごみ減量対策 ・資源ごみ回収団体の支援、回収量に応じた報奨金交付 ・雑がみ回収を推進するため資源ごみ回収団体に雑がみ回収用紙袋を配布 ・EMボカシの無料交付 ・コンポストの斡旋 ・電気式生ごみ処理機の購入補助 ・指定ごみ袋制度の実施 ②啓発 ・小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布 ・ごみ減量スローガンコンクールを実施 ・オリジナルマイバック作成事業をPR				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）	17,461	17,259	17,051	16,729	16,420	t

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	81,444	0	81,444

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	資源ごみの回収促進を図るため、資源ごみ回収団体に対し、雑がみ回収専用の手提げ袋と缶類を回収するためのビニール袋を提供するとともに、指定品目（新聞・雑誌・段ボール・雑がみ・スチール缶・アルミ缶・古布類）の回収量に応じた報奨金（1kgあたり5円）を交付した。 EMボカシ116個の無料交付、コンポスト21個の斡旋、電気式生ごみ処理機20基の購入補助を実施し、生ごみ減量を推進した。 市のごみ処理の現状やごみ減量などについてまとめた「くらしとごみ」を、社会科の副読本として市内の小学4年生に配布するとともに、ごみ減量スローガンコンクールを実施し、児童がごみに関する諸問題に関心を持ち、知識を身につける機会とした。 ペットボトルの半永久的なリサイクルを可能とした水平リサイクルを実施し、資源循環の取り組みを進めた。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）	17,346	16,890	16,729	16,420	16,092	t
	目標達成率(実績/目標)		101.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	66,743,845	0	69,104,313	69,104,313	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	66,743,845	0	69,104,313	69,104,313	0
	一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）		成果指標に対する所見	継続したごみ減量施策の実施と啓発により、ごみ排出量を目標値以下に抑えるとともに、資源の有効活用につなげることができた。
	目標	17,051	t		
	実績	16,890	t		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	ごみの減量に向けた取り組み等により、ごみ排出量が減少している一方で、再資源化される資源ごみの集団回収量も減少している。資源ごみ回収団体については、世話人や参加世帯、若い世代の確保、資源の管理方法等に課題をもつ団体があり、今後も継続した活動を行うためには、それらの課題を解決する必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善 ☑ 3.現状維持 □ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	現在の取り組みを継続して実施し、各家庭におけるごみ減量に向けた意識向上を図る。また、資源ごみ集団回収制度についてより一層周知するとともに、各団体が抱える課題の解決に向けたきめ細やかな支援を実施する。
	令和7年度	同上

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	1	災害などに強いまちづくり

めざす姿	災害リスクに応じて、ハード・ソフト両面で計画的な整備を進めるとともに、地域の防災力向上や災害に備えた体制の充実など、防災対策の強化に努めます。 また、様々な危機事象から市民を守るため、フェーズフリーの考えのもと、日頃からおのずと災害に備えることができるまちづくりの実現に向けて、地域全体の強靭化を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①						
事業名	災害対策事業	担当部署	危機管理局			
実施方針	①防災意識の高揚、災害対策の普及啓発を図る ②自主防災組織の活動活性化 ③防災用資機材・備蓄物等の整備	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			21,783	9,169	9,169	
事業内容（R5）	①防災意識の高揚、災害対策の普及啓発を図る ・市総合防災訓練の実施 ・出前講座等による周知・啓発 ・津波避難計画の改訂 ・避難路、避難場所等の整備・強化 ②自主防災組織の活動活性化 ・防災訓練実施の促進 ・自主防災組織活動推進事業助成金の交付 ・防災士取得に向けた制度周知及び費用の助成 ③防災用資機材・備蓄物の整備 ・避難所への備蓄物等の整備（ローリングストックの推進）					

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	防災訓練参加者数	530	870	1,000	1,000	1,000	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	21,783	△ 6,301	15,482

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①市民等を対象に防災講演会を開催したほか、まちづくり出前講座や学校での防災授業を実施することにより、防災意識の高揚を図った。また、自主防災会を中心に各地域において防災訓練を実施したほか、9月1日に避難所開設・設営訓練と罹災証明発行訓練を実施し、11月5日には内閣府共催の地震・津波防災訓練と市フェーズフリーフェスティバルを実施し、市および関係機関の発災時の対応能力の向上を図った。 ②組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図った。また、「自主防災会連絡協議会」では、地域防災活動の充実強化につなげるため、災害情報の周知・啓発を図った。 ③県・市の備蓄目標や役割分担を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に基づき、整備している食糧・保存水・粉ミルクなどについて、賞味期限が近い物資から更新を行った。賞味期限が近づいたアルファ化米、保存水などの備蓄物資は、自主防災会などに配布し、地区での防災訓練に活用した。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	防災訓練参加者数	890	1,000	1,000	1,000	1,000	人
	目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	11,391,313	0	13,411,230	13,411,230	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	1,441,000	0	919,000	919,000	0
	地方債	0	0	4,800,000	4,800,000	0
	その他	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0
	一般財源	7,950,313	0	5,692,230	5,692,230	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	防災訓練参加者数		成果指標に対する所見	フェーズフリーフェスティバルを開催するなど、市から継続的に防災に関する情報提供を行うことで、市民の防災意識の高揚と災害対策の普及啓発を図った。
	目標	1,000	人		
	実績	1,000	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		自主防災会連絡協議会等を通じて、各地域の活動内容等の情報交換・共有を図り、さらなる地域の防災力の向上に繋げていく。また、自主防災会の活動低下につながらないよう啓発と支援を続け、防災リーダーの創出と市民の主体的な活動を後押しする必要があるとともに、地域全体の防災意識の高揚を図るために、若年層や女性の視点に立ったアプローチの強化に努める。その他「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に準じた備蓄物資の配備を行う。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	フェーズフリーフェスティバルを実施するなど、より実践に即した防災訓練を実施する。また、自主防災組織が行う組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、活動活性化助成金制度の活用を促し組織活動の推進を図る。その他、市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の避難所となる小中学校や福祉避難所の備蓄物資の充実を図る。
	令和7年度	フェーズフリーフェスティバルを実施するなど、より実践に即した防災訓練を実施する。また、自主防災組織が行う組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、活動活性化助成金制度の活用を促し組織活動の推進を図る。その他、市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の避難所となる小中学校や福祉避難所の備蓄物資の充実を図る。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	1	災害などに強いまちづくり

めざす姿	災害リスクに応じて、ハード・ソフト両面で計画的な整備を進めるとともに、地域の防災力向上や災害に備えた体制の充実など、防災対策の強化に努めます。 また、様々な危機事象から市民を守るため、フェーズフリーの考えのもと、日頃からおのずと災害に備えることができるまちづくりの実現に向けて、地域全体の強靭化を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業②						
事業名	排水機場・樋門整備事業	担当部署	都市建設部 土木課			
実施方針	①排水機場長寿命化計画の策定による適正な維持管理 ②地域からの要望や冠水被害発生箇所への排水機場の新設・改良	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			150,000	150,000	150,000	
事業内容（R5）	①長寿命化計画に沿った、排水機場及び樋門の維持・修繕の実施 ・辻岩排水機場長寿命化工事 ・八軒浜樋門長寿命化工事 ・各排水機場及び樋門の日常管理・点検の推進 ・各施設管理人との連携強化 ②排水機場の新設・改良事業の検討 ・道路冠水など被害が発生している箇所への新設 ・既存能力が不足している箇所への増設					

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	更新基数	11	4	4	4	4	基

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	150,000	106,750	256,750

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業②		
事業実施内容（R5）	①長寿命化計画に沿った、排水機場及び樋門の維持・修繕の実施 ・辻岩排水機場長寿命化工事 ・高島八軒浜樋門長寿命化工事 ・各排水機場及び樋門の日常管理・点検の推進 ・各施設管理人との連携強化 ②排水機場の新設・改良事業の検討 ・道路冠水など被害が発生している箇所への新設 ・既存能力が不足している箇所への増設	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	更新基数	4	2	4	4	4	基
	目標達成率(実績/目標)		50.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	49,800,000	106,697,000	29,900,000	136,597,000	120,100,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	44,800,000	90,200,000	26,900,000	117,100,000	108,100,000
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,000,000	16,497,000	3,000,000	19,497,000	12,000,000

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	更新基数		成果指標に対する所見	排水機場及び樋門の維持・修繕の実施はできていたが、指標である更新基数では到達できなかった。今後は計画的に更新を推進していく。
	目標	4	基		
	実績	2	基		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	排水機場整備には大きな予算が必要となっている。このため、有効な補助金の活用や新たな補助事業の採択を模索しながら事業を推進していく必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	排水機場長寿命化計画をもとに事業を実施。
	令和7年度	排水機場長寿命化計画をもとに事業を実施。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	1	災害などに強いまちづくり

めざす姿	災害リスクに応じて、ハード・ソフト両面で計画的な整備を進めるとともに、地域の防災力向上や災害に備えた体制の充実など、防災対策の強化に努めます。 また、様々な危機事象から市民を守るため、フェーズフリーの考えのもと、日頃からおのずと災害に備えることができるまちづくりの実現に向けて、地域全体の強靭化を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業③	事業名	耐震化・施設整備等推進事業	担当部署	企画総務部 特定事業推進課		
	実施方針	＜新庁舎整備事業＞ 「鳴門市新庁舎建設基本計画」に掲げた5つの基本方針の実現に向け、新庁舎の整備を推進する。 ＜文化会館改修事業＞ 令和3年4月から休館している文化会館について、耐震性能の確保や早期の再開を目指した整備を推進する。	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				＜新庁舎整備事業＞ 4,181,723 ＜文化会館改修事業＞ 101,253	＜新庁舎整備事業＞ 617,612 ＜文化会館改修事業＞ 未定	
	事業内容（R5）	＜新庁舎整備事業＞ 1-1_新庁舎整備事業（DB）【継続費：R2～R5】 1-2_新庁舎整備事業2期外構工事 1-3_新庁舎整備事業2期外構工事に係る工事監理業務 1-4_鳴門市役所本庁舎等解体工事設計業務 1-5_鳴門市役所本庁舎等解体工事に伴う近隣家屋等事前調査業務 【債務負担行為：R6】 ※新規設定 1-6_新庁舎整備事業施工CM業務 【債務負担行為：R5】 1-7_新庁舎サイン設計・製作設置業務 【債務負担行為：R6】 ※新規設定 1-8_オフィス環境整備業務 【債務負担行為：R5】 1-9_新庁舎什器等備品購入 1-10_造作什器製作設置業務 1-11_集密書架購入設置業務 【債務負担行為：R5】 1-12_新庁舎西側歩道等改修工事 1-13_現庁舎等アーカイブ事業 【債務負担行為：R6】 ※新規設定 1-14_市役所東側付属棟改修工事 1-15_市役所東側付属棟改修工事監理業務 ＜文化会館改修事業＞ 2-1_文化会館耐震改修工事基本設計業務 2-2_文化会館耐震改修事業監修業務 2-3_DB発注仕様書作成業務 2-4_文化会館耐震改修工事設計・施工者選定CM業務 【債務負担行為：R6】 ※新規設定				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	新庁舎の建設	実施設計の推進	実施設計の策定 工事の着手	新庁舎完成	旧庁舎等解体、駐車場工事の着手	駐車場工事完了	
	文化会館の改修		耐震調査等の実施	基本設計の策定	実施設計の着手	実施設計の策定 工事の着手	

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	＜新庁舎整備事業＞ 4,181,723 ＜文化会館改修事業＞ 101,253	＜新庁舎整備事業＞ 1,162,071 ＜文化会館改修事業＞ 0	＜新庁舎整備事業＞ 5,343,794 ＜文化会館改修事業＞ 101,253

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業③

事業実施内容（R5）

【新庁舎の建設】
令和4年5月より工事に着手し、当初からの予定通り令和6年1月に竣工を迎えた。また、工事と並行して関係各課と調整しながら数量や仕様等を決定してきた什器や、各種設備等の設置等を竣工後より速やかに行い、5月の開庁に向けて順調に事業を進めることが出来た。
そのほか、東側付属棟改修工事や一般国道28号歩道部工事等の新庁舎周辺に係る工事を行った。

【文化会館の改修】
令和4年度に決定した耐震改修案及び施設の目指す方向性を具現化するものとして、令和5年6月より基本的な耐震改修計画や設備計画等をまとめる耐震改修工事基本設計業務を実施し令和6年3月に完了した。今後、コスト・スケジュールを管理しながら、求められる耐震改修等を着実に具現化できる実施設計・施工者の選定を行い、実施設計・工事に進んでいく。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
新庁舎の建設	実施設計の策定 工事の着手	新庁舎完成	旧庁舎等解体、駐車場等工事の着手	駐車場等工事完了	－	－
目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）

年度		令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
計		1,235,530,636	1,162,071,000	3,906,133,261	5,068,204,261	220,000,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	1,017,100,000	1,045,800,000	3,387,000,000	4,432,800,000	140,200,000
	その他	137,000	0	373,532,000	373,532,000	0
	一般財源	218,293,636	116,271,000	145,601,261	261,872,261	79,800,000

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
文化会館の改修	耐震調査等の実施	基本設計の策定	実施設計の着手	実施設計の策定 工事の着手	工事竣工	－
目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）

年度		令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
計		11,012,000	0	93,558,964	93,558,964	7,600,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	7,786,000	7,786,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	11,000,000	0	85,560,000	85,560,000	0
	一般財源	12,000	0	212,964	212,964	7,600,000

◎評価（CHECK）

事業③

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名：新庁舎の建設 目標：新庁舎完成 実績：新庁舎完成 評価：A:目標を達成できた	成果指標に対する所見	計画どおり安全かつ着実に令和6年1月に竣工した。
	指標名：文化会館の改修 目標：基本設計の策定 実績：基本設計の策定 評価：A:目標を達成できた		計画どおり令和6年3月に基本設計が完了した。

◎今後の方向性(ACTION)

事業③

課題

【新庁舎の建設】
引き続き、関係各課と調整しながら什器や、各種設備等の設置等を行い、また、5月の引越し及び開庁に向けて市民等への情報発信を図っていくとともに、遅滞なく旧庁舎等の解体工事を進めていく。

【文化会館の改修】
令和6年度より実施設計・施工者の選定を行うにあたり、合理的なスケジュールを予め設定し、滞りなく契約を行い、実施設計を進めていく。

今後の方向性

☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容

令和6年度	【新庁舎の建設】 新庁舎への引越し及び開庁、旧庁舎等解体 【文化会館の改修】 実施設計開始
令和7年度	【新庁舎の建設】 駐車場整備完了 【文化会館の改修】 工事開始

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	2	消防・救急体制の充実

めざす姿	火災や自然災害などから市民の生命と財産を守る消防体制の充実を図るとともに、緊急時に迅速かつ的確に対応できる救急救命・救助体制の充実を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	消防・救急体制強化事業	**担当部署**	消防本部 消防総務課・警防課		
	実施方針	①消防団車両・資機材整備等を計画的に更新し消防力強化を図る ②消防団安全装備品を計画的に整備し消防団員の安全確保を図る ③消防施設の耐震化を整備する ④新規救急救命士の養成を図る	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				34,983	29,126	24,215
	事業内容（R5）	①消防団車両・資機材等整備事業 ・消防分団配備の消防ポンプ車及び小型ポンプ付積載車の状況を踏まえて車両等を更新する ②消防団安全装備品整備事業 ・豪雨災害等現場活動を実施するため雨衣を整備 ③消防施設耐震化事業 ・三津大須分団詰所解体撤去工事監理業務、三津大須分団詰所解体撤去工事 ④新規救急救命士養成事業 ・救急救命九州研修所及び病院実習への派遣				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	新規救急救命士数	2	2	2	1	1	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	34,983	0	34,983

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①消防団車両・資機材等整備事業 ・令和5年6月に小型ポンプ付き積載車3台の入札を実施し、11月に大津第一分団、里浦北分団、島田分団に配備した。 ②消防団安全装備品整備事業 ・消防団員の豪雨災害対策として雨衣を令和6年2月に全分団へ210着を配布した。 ③消防施設耐震化事業 ・三津大須分団詰所解体撤去工事監理業務（令和6年2月完了） ・三津大須分団詰所解体撤去工事（令和6年2月完了） ④新規救急救命士養成事業 ・救急救命九州研修所へ職員1名を令和5年9月から令和6年3月まで派遣し、国家資格を取得させた。また、救急救命士の資格を有する職員2名を徳島県立中央病院と徳島県鳴門病院へ各1名ずつ就業前病院実習として派遣した。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	新規救急救命士数	2	2	1	1	1	人
	目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	31,180,435	0	34,081,249	34,081,249	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	12,900,000	0	21,800,000	21,800,000	0
	その他	3,557,400	0	3,903,900	3,903,900	0
	一般財源	14,723,035	0	8,377,349	8,377,349	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	新規救急救命士数		成果指標に対する所見	目標である2名の新規養成を達成することができた。
	目標	2	人		
	実績	2	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	○消防施設耐震化事業については、（仮称）大麻町総合防災センター（以下「防災センター」という）の計画に基づいて、防災拠点である大麻分署と板東分団詰所の諸課題を検討し施設整備を図る。その他の未耐震施設となっている消防団詰所においては再編問題が課題となっていることから諸課題等を検討していく必要がある。 ○救急需要の増大、活動時間の延伸等、救急活動を取り巻く環境は過酷なものとなっており、救急活動全体の質向上、隊員の負担軽減に繋がる救急救命士2名乗車体制の構築に向け、救急救命士養成事業を拡充する必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	○防災センターの計画に基づき、防災拠点である大麻分署、板東分団詰所について諸課題を検討する。 ○消防施設耐震化事業では、未耐震施設である分団詰所において耐震診断を進めて行く。 ○救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の向上に努める。
	令和7年度	○防災センターの計画に基づき、防災拠点である大麻分署、板東分団詰所について諸課題を検討する。 ○消防施設耐震化事業については、分団再編等協議を進める。 ○救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の向上に努める。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	3	安全安心のまちづくり
実施計画名	3	市民安全対策の充実

めざす姿	交通事故を防ぐため、交通安全の啓発活動や交通安全施設の計画的な整備に努めます。 また、複雑・多様化する消費者トラブルなどを防ぐため、情報発信や相談体制の強化に努めます。 身近な生活の不安を感じることなく、市民が安心して暮らせるよう、関係機関と連携しながら対策に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	市民安全対策事業	**担当部署**	市民生活部　市民協働推進課		
	実施方針	①交通安全、防犯活動の推進 ②消費生活センターの充実 ③消費者教育の推進	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				19,458	19,458	19,458
	事業内容（R5）	①交通安全、防犯活動の推進 ・幅広い世代への交通安全教室の実施 ・警察や関係団体等と連携した交通安全、防犯活動の実施 ②消費生活センターの充実 ・啓発グッズ作成等による消費生活センターの周知 ・全国消費者情報ネットワークシステムや国民生活センター教育研修事業を活用した相談員の資質向上 ③消費者教育の推進 ・啓発グッズやフードポスト等を通じたエシカル消費の周知啓発				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	市内における交通死亡事故件数（暦年）	2	0	0	0	0	件

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	19,458	2,666	22,124

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①交通安全、防犯活動の推進 ・交通安全講習を市内の幼小中学校で実施したほか、市内企業等にも出向いて実施した。（実施回数89回、参加人数4，618人） ・春と秋の交通安全運動のほか、鳴門警察署の交通・防犯キャンペーンに参加するなど、各関係団体との連携を深めた。 ・自転車利用者のヘルメット着用率の底上げや交通安全意識の向上を図る目的として、自転車乗車用ヘルメットを購入した市民を対象に購入費の一部を助成した。※実績：65歳以上、340名　高校生世代：24名　計：364名 ②消費生活センターの充実 ・消費者行政強化交付金を活用して消費生活センターの周知及び消費者被害防止のための啓発グッズを作製した。 高齢者が多く集うイベントや消費生活協力団体に対して配布の協力をしていただき、より効果的にPR活動を行った。 ・国民生活センター教育研修事業等の研修について、相談力の向上のため、消費生活相談員が積極的に参加した。（計9回） ③消費者教育の推進 ・啓発グッズ作製のほか、出張フードポストの実施など積極的に食品ロスの推進に努めた（食材の年間提供点数1，439点）	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	市内における交通死亡事故件数（暦年）	0	2	0	0	0	件
	目標達成率(実績/目標)		0.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	16,236,614	0	18,593,927	18,593,927	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	1,142,000	0	1,911,800	1,911,800	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	15,094,614	0	16,682,127	16,682,127	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	市内における交通死亡事故件数（暦年）		成果指標に対する所見	関係機関・団体等と連携し、交通安全啓発と意識の高揚に努める。
	目標	0	件		
	実績	2	件		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		・市内での交通死亡事故ゼロを目指し、各機関と連携し効果的な交通安全啓発・周知に努め、道路交通法の改正等に伴い、適宜施策を行う必要がある。 ・消費者トラブルが複雑化していることから、継続的に相談員の資質向上となる研修参加や市民がトラブルに遭わないよう、各関係機関と連携・情報共有を行い、市消費生活センターへ繋げる体制を引き続き構築していく必要がある。 ・市内関係団体との消費者被害防止ネットワークや消費生活協力団体と情報共有等も含め連携の強化を図る必要がある。 ・消費者教育の推進・拡充を図るため、地域での出前講座や広報なるとや市公式ウエブサイト 等を活用するなど理解と取り組みを促進する必要がある。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	・市内の交通死亡事故ゼロを達成するため、交通安全講習やキャンペーン等を継続するほか、交通事故の現状の把握に努め、効果的な対策を講じていく。 ・見守りネットワークの消費生活協力団体（24団体）の委嘱を進めてきたことから、このネットワークを生かし、特に高齢者を対象とした消費者被害防止のための啓発活動・消費生活センターの周知をより一層強化したい。 ・消費者相談員のスキルアップを図るとともに、市民に対しては、出前講座等を通じてSDGs等の消費者教育についても強化する。
	令和7年度	令和6年度と同様。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	1	健康づくりの推進と医療体制の確保

めざす姿	各種健診等の実施、食生活や運動習慣の改善など、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを推進するとともに、市内医療機関の連携や市中核病院の機能充実を図り、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	特定健診・特定保健指導事業	**担当部署**	健康福祉部 保険課		
	実施方針	①特定健診（特定健康診査）・特定保健指導の実施 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 ③みなし健診（特定健康診査情報提供事業） ④特定保健指導未利用者対策	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				66,603	66,603	66,603
	事業内容（R5）	①特定健診（特定健康診査）・特定保健指導の実施 対象者に受診券を送付する。受診者のうち、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の者に対し特定保健指導を行う。 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 保健師等専門職をオペレーターに採用し、健康相談を兼ねたきめ細やかな受診勧奨を行い、対象者に対し受診の習慣を定着させる意識づけや受診への動機づけを図る。 ③みなし健診（特定健康診査情報提供事業） 生活習慣病などにより治療中の特定健診未受診者に対し、本人の同意のもと、医療機関から検査データの提供を受け、特定健診結果のデータとして活用する。 ④特定保健指導未利用者対策 特定保健指導未利用者に対し、勧奨通知を送付し利用を促すことで、特定保健指導実施率の向上を図る。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	特定健診受診率	39	55	60	45	50	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	66,603	0	66,603

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	・生活習慣病等治療中により特定健診未受診の被保険者について、被保険者の同意が得られた場合に、医療機関より情報提供票等を本市に提出いただくことで特定健診を受診したとみなす「みなし健診」について、令和2年度より鳴門市医師会と契約を締結しているが、令和5年度は、市外医療機関と個別契約し、対象者の拡大に努めた。みなし健診協力者に対してはインセンティブとしてQuoカード（500円分）を進呈した。 ・受診勧奨事業で、対象者を既往歴や受診歴から分類し、8種類の勧奨資材を作成し、各対象者の状況に応じた受診勧奨ハガキを送付した。通知物は、ナッジ理論を活用する等、対象者の特性に合わせ、中身を開けてもらえるような興味を引く外面や受診行動を促す内容となるよう工夫した。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	特定健診受診率	38.4	38.8	45	50	55	%
	目標達成率(実績/目標)		64.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	令和6年度への繰越額
	計	41,478,031	0	39,565,031	39,565,031	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	22,980,000	0	20,275,000	20,275,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	18,498,031	0	19,290,031	19,290,031	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	特定健診受診率		成果指標に対する所見	各種受診勧奨を実施したものの、受診率は伸び悩み、引き続き効果的な受診勧奨の調査・研究に努める。
	目標	60	%		
	実績	39	%		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	特定健診・特定保健指導事業は、国民健康保険等の保険者に、その実施が義務づけられているが、被保険者には義務化されていない。メタボリックシンドロームなど生活習慣病は初期では自覚症状が無いこと、現に生活習慣病の治療中であっても特定健診の受診対象者となることなどから、特定健診を受診する必要性を理解してもらうことが重要である。 既に治療中の被保険者は、特定健診が未受診であることが多いため、みなし健診のさらなる周知を行い、受診率に反映できるよう努める。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	鳴門市医師会等と連携し、みなし健診を引き続き実施するとともに、職場健診を受けた方や自費でドックを受けた方からの検査結果の提供についても積極的に呼びかけ、受診率の向上を図る。
	令和7年度	これまで実施した受診勧奨の手法について効果検証を行い、受診率の向上に繋げる。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	1	健康づくりの推進と医療体制の確保

めざす姿	各種健診等の実施、食生活や運動習慣の改善など、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを推進するとともに、市内医療機関の連携や市中核病院の機能充実を図り、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業②

事業名	市民の健康づくり対策事業	**担当部署**	健康福祉部 健康増進課		
実施方針	①「健康なると21（第二次）」を推進し、市民の健康の維持・向上に取り組む ②「鳴門市自殺対策計画」に基づき、自殺予防の取り組みを推進する。	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			28,625	25,625	25,625
事業内容（R5）	①健康教育、健康相談、栄養改善事業等の各保健事業を通して「健康なると21（第二次）」後期アクションプランの取組を継続。また、かかりつけ医や関係機関と連携したがん検診の受診勧奨や、無料クーポン券の配布、節目年齢や継続受診のない方への受診勧奨等を実施 ②自殺予防週間や対策強化月間にあわせた市民対象キャンペーンや自殺対策計画に基づき普及啓発活動を継続				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	平均自立期間（要介護2以上）（国保データベースより抽出）	男性78.7 女性83.2	男性79.3 女性83.1	男性79.7 女性83.8	男性80.0 女性84.3	男性80.0 女性84.3	歳

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	28,625	5,251	33,876

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	①健康教育、健康相談、栄養改善事業等の各保健事業を通して「健康なると21（第二次）」後期アクションプランの取組を行った。また、かかりつけ医や関係機関と連携し、リーフレットの配布など、がん検診の受診勧奨や、無料クーポン券の配布、節目年齢や継続受診のない方への受診勧奨、一定の年齢の方への検診票の送付等を行った ②自殺予防週間や対策強化月間にあわせた市民対象キャンペーンや徳島県自殺予防協会と共催し自殺予防講演会を開催した ③「健康なると21（第三次）」計画（自殺対策計画を包含）を策定した。策定にあたっては策定委員会の他、健康なると21推進ワークショップ、庁内関係課から意見の聴収を行った	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	平均自立期間（要介護2以上）（国保データベースより抽出）	男性79.3 女性83.1	男性79.6 女性83.4	男性80.0 女性85.0	男性80.0 女性85.0	男性80.0 女性85.0	歳
	目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	22,898,583	0	33,424,945	33,424,945	0
財源内訳	国庫支出金	87,000	0	0	0	0
	県支出金	357,000	0	1,086,000	1,086,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	244,200	0	200,900	200,900	0
	一般財源	22,210,383	0	32,138,045	32,138,045	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	平均自立期間（要介護2以上）（国保データベースより抽出）		成果指標に対する所見	男女ともに目標に届かなかったものの、前年度を上回る数値となった
	目標	男性79.7女性83.8	歳		
	実績	男性79.6女性83.4	歳		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	若い世代への情報発信や働きかけができる機会の確保に向けて、イベントや職域との連携など、いろいろな場を活用しながら、若い時からの健康に対する意識の醸成が必要である。	
今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	「健康なると21（第三次）」計画方針に沿った事業の推進
	令和7年度	令和6年度に同じ

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	1	健康づくりの推進と医療体制の確保

めざす姿	各種健診等の実施、食生活や運動習慣の改善など、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを推進するとともに、市内医療機関の連携や市中核病院の機能充実を図り、安心して受診できる医療体制の充実を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業③	**事業名**	地域医療確保事業	**担当部署**	健康福祉部 健康増進課		
	実施方針	「鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例」の推進により、市民の健康度の向上や地域医療に対する理解を深める	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				46,865	54,865	54,865
	事業内容（R5）	①夜間休日当番医制度の維持および二次救急の確保のため、鳴門市救急医療対策事業・救急医療対策在宅当番医制運営事業の継続実施 ②救急電話相談の周知や小児救急に関するリーフレットの配布、広報誌での記事掲載等救急医療の適正医療に関する啓発の継続実施 ③条例推進のために、条例推進協議会および庁内推進会議を開催・運営 ④医師会等関係機関からなる鳴門市医療懇話会の開催 ⑤徳島県鳴門病院との連携（鳴門病院との連携事業、鳴門市地域医療人材確保事業補助金）				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	電話救急相談利用件数	554	600	650	750	750	件

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	46,865	38,360	85,225

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業③		
事業実施内容（R5）	①鳴門市救急医療対策事業・救急医療対策在宅当番医制運営事業を継続実施し、夜間休日当番医制度の維持および二次救急の確保に努めた ②救急電話相談の周知や小児救急に関するリーフレットの配布、広報誌での記事掲載等救急医療の適正医療に関する啓発を行った ③条例推進のために、条例推進協議会および庁内推進会議を開催した ④医師会等関係機関からなる鳴門市医療懇話会を開催した ⑤徳島県鳴門病院との連携事業として市民対象の講演会を開催した	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	電話救急相談利用件数	741	1155	800	800	800	件
	目標達成率(実績/目標)		177.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	32,841,112	0	50,650,246	50,650,246	0
財源内訳	国庫支出金	18,830,000	0	35,060,000	35,060,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	14,011,112	0	15,590,246	15,590,246	0

◎評価（CHECK）

事業③	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	電話救急相談利用件数		成果指標に対する所見	利用件数は増加傾向にあるが、引き続き周知啓発を図る。
	目標	650	件		
	実績	1,155	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業③		
課題	市民の安全・安心を守るために救急医療対策事業を継続していくことは重要である。夜間・休日在宅当番医制度の存続に関しては、地域の開業医の高齢化等の問題もあり、可能な限り現状を維持できるよう、引き続き市医師会と協議を進めていくことが必要である。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	令和5年度に同じ
	令和7年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	2	地域福祉の充実

めざす姿	誰もがいつまでも安心して快適に暮らせる地域づくりを確立するため、隣近所の助け合い、支え合いなどの地域における住民活動を基盤とし、安心して暮らせる環境を住民みんなの力で築き上げ、地域共生社会の実現を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	包括的な支援体制整備事業	**担当部署**	健康福祉部 社会福祉課		
	実施方針	①庁内横断的な相談会議の設置 ②重層的支援体制整備事業の検討 ③第2期鳴門市地域福祉計画の推進	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				171	171	171
	事業内容（R5）	①庁内横断的な相談会議の設置 ・誰ひとり取り残さない相談支援体制を整備するため、属性、世代、相談内容に関わらず、庁内関係部署間等の横断的な情報共有の会議を実施する。 ②重層的支援体制整備事業の検討 ・地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する断らない包括的な支援体制を整備するため、国が創設している「重層的支援体制整備事業」実施について検討を行う。 ③第2期鳴門市地域福祉計画の推進（進捗管理） ・令和5年度からを計画期間とする「第2期鳴門市地域福祉計画」について、地域住民・団体からなる評価委員等の意見をもとに進捗を図る。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	庁内横断的な相談会議の開催	－	－	1	1	1	回

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	171	0	171

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①庁内横断的な相談会議の設置 ②重層的支援体制整備事業の検討 ・①と②を併せて、「誰ひとり取り残さない相談支援ネットワーク会議」実施。国が創設している「重層的支援体制整備事業」実施に向けて庁内関係部署と市内相談支援機関等の横断的な情報共有と協力連携について検討を行った。 ③第2期鳴門市地域福祉計画の推進（進捗管理） ・令和5年度からを計画期間とする「第2期鳴門市地域福祉計画」について、自治会の集会を巡回しつつ説明し、地域住民の理解を深め意見を求めた。策定委員会から選出した評価委員による地域福祉計画評価会議を行い、進捗状況について評価を行った。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	庁内横断的な相談会議の開催		1	1	1	1	回
	目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	0	0	21,000	21,000	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	21,000	21,000	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	庁内横断的な相談会議の開催		成果指標に対する所見	誰ひとり取り残さない相談支援ネットワーク会議を開催し、市民からの相談に実際に対応している市職員同士の横のつながりと、鳴門市内で様々な相談に対応している相談支援機関同士のつながり、また庁内・庁外のつながりを作ることにより、連携体制の基礎を作ることができた。
	目標	1	回		
	実績	1	回		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	各相談支援ネットワークの調整機能の強化などを通して、高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者という縦割りの分野を超えて、様々な相談を包括的に受け止め、関係部署や関係機関が一体となって必要な支援を行うことが出来るよう支援体制の整備を進める。	

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	誰ひとり取り残さない相談支援ネットワーク会議を定期開催し、市民からの相談に実際に対応している市職員同士の横のつながりと、鳴門市内で様々な相談に対応している相談支援機関同士のつながり、また庁内・庁外のつながりを深め、連携を深めつつ相談支援にあたる。
	令和7年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	3	高齢者が暮らしやすいまちづくり

めざす姿	高齢者が住み慣れた地域で、みんなで支え合いながら健康で安全安心な暮らしを自分らしくいきいきと尊厳をもって送ることができるまちづくりを推進します。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	地域支援事業	**担当部署**	健康福祉部 長寿介護課		
実施方針	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、市民が高齢になっても、地域において自立した日常生活が営めるよう、介護予防・日常生活支援総合事業や包括的支援事業などに取り組む。	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			359,624	359,624	359,624
事業内容（R5）	①介護予防・生活支援サービス事業の推進 要支援領域の高齢者の在宅生活を支えるため、多様な主体による訪問型や通所型の生活支援・介護予防サービスを提供する。 ②介護予防普及啓発事業 高齢になっても一人ひとりの市民が地域において自立した日常生活が営めるよう、「いきいき百歳体操」の普及啓発や各種の介護予防教室を実施し、健康状態の維持・増進を図る。また 医療保険・介護保険・介護予防事業等のデータを活用し、介護予防事業の効果検証や本市高齢者の特性・課題の分析を行い、分析結果やエビデンスに基づく介護予防事業等を展開することにより、健康寿命の延伸を図る。 ③地域介護予防活動支援事業 身近な場所で、いきいき百歳体操などの介護予防活動を実施する団体等を「いきいきサロン」として位置付け、その運営費の一部を補助するとともに、栄養や口腔などの専門職を講師として派遣するなど、市民による介護予防活動の育成・支援を行う。また、運動・栄養・社会参加を柱とする「フレイル予防」を推進するため、フレイルサポーターの養成やフレイルチェックなどを継続する。 ④地域リハビリテーション活動支援事業 介護予防の取組みを機能強化するため、リハビリテーション専門職を「いきいきサロン」や介護サービス事業所等に派遣する。 ⑤包括的支援事業及び任意事業 各日常生活圏域において、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う、地域包括支援センター業務を委託し、地域の住民を包括的に支援するとともに、介護給付費の適正化や高齢者の権利擁護、認知症施策、生活支援体制の整備などを実施する。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	要介護（要支援）認定率	18.8	19.0	19.0	19.0	19.0	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	359,624	1,404	361,028

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①多職種と連携して介護予防・日常生活支援総合事業の充実化を図った。 ②各種介護予防教室の継続実施、オンラインフィットネス教室で神戸大学と連携しコグニクラスの新設、健康増進課・保険課と連携した生活習慣病予防クラスを新規に開催した。また、新たな趣味系介護予防教室（スマホ写真講座）を開催した。 ③新規開設2か所及びコロナ禍からの再開1か所を含む市内59か所のいきいきサロンに対して、専門職等の派遣、栄養士による講座を行うなど活動を支援した。さらに、フレイルの兆候が見られる方へ個別指導を実施し、いきいきサロンへの復帰に繋げた。また、フレイルサポーター養成講座を開催し、2期生のフレイルサポーターを養成した。いきいきサロン、一般介護予防事業での活動に加え、イベント等での体力測定、フレイルチェックを実施した。 ④いきいきサロン参加者のニーズや課題などを踏まえ、いきいき先生のメニューを更新するともに、周知・活用を促し、いきいきサロンに「いきいき先生」を派遣した。また、重度化防止事業として、通所介護事業所を訪問し、介護職員等のケア技術の向上に向けた取り組みを行った。 ⑤地域包括支援センター圏域にて、一般市民向け認知症サポーター養成講座を開催する等、サポーター養成を行った。主要介護給付費適正化事業「要介護認定の適正化」、「ケアプランの点検」、「住宅改修等の点検」、「縦覧点検・医療情報との突合」及び「給付費通知」について、取組を進めた。

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	要介護（要支援）認定率	18.8	19.2	19.0	19.0	19.0	%
	目標達成率(実績/目標)		99.0	－	－	－	%

事業費推移（円）		年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
				前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
		計	297,595,635	0	312,645,780	312,645,780	0
	財源内訳	国庫支出金	137,862,535	0	129,372,215	129,372,215	0
		県支出金	53,402,342	0	53,597,807	53,597,807	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	52,449,986	0	53,748,613	53,748,613	0
		一般財源	53,880,772	0	75,927,145	75,927,145	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	要介護（要支援）認定率		成果指標に対する所見	全体的な数値は達成できているが、より効果的な予防活動の実施、方法等について検討し実施する必要がある。
	目標	19	%		
	実績	19	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	医療保険・介護保険・介護予防事業等のデータ分析・活用により、本市高齢者の特性や課題などの分析結果やエビデンスに基づき、介護予防事業の効果検証を行うとともに、新たな視点・アプローチによる介護予防事業に取り組むことで、要介護認定率の低位安定や新規介護認定の平均年齢の引き上げに繋げる必要がある。 また、介護予防事業は後期高齢者が参加者の主であるが、今後は前期高齢者の参加を促し、運動習慣をつけること等により、健康寿命の延伸を図る必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	市民が気軽に介護予防に取り組むことができる通いの場として、各種介護予防教室の開催や住民主体の通いの場「いきいきサロン」への支援に加え、新たな介護予防教室を開催するなど、通いの場への参加者数の増加に取り組み、要介護認定率の低位安定や新規介護認定の平均年齢の引き上げを目指す。
	令和7年度	引き続き、介護予防事業の推進に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	4	障がい者が暮らしやすいまちづくり

めざす姿	障がい者が住み慣れた地域で、安心して社会生活を営むことができるよう、相談体制の充実や障害福祉サービス等の提供、就労支援、障がい児支援の充実を図ります。また、生活しやすい環境づくりや支え合う体制づくりを推進することで、障がい者の社会参加を促進します。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	地域生活支援事業	**担当部署**	健康福祉部 社会福祉課		
	実施方針	①必須事業として、相談支援事業や理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業等を実施する。 ②任意事業として、日常生活支援に関する事業や社会参加支援に関する事業を実施する。	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				93,051	93,051	93,051
	事業内容（R5）	①必須事業 相談支援事業（基幹相談支援センター）、障がい者相談支援事業（委託相談支援等）、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等 ②任意事業 日中一時支援、訪問入浴サービス、レクリエーション活動等支援、声の広報等発行等				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所（3カ所）における相談件数	9,020	9,000	9,000	10,000	10,000	件

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	93,051	7,757	100,808

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①必須事業・・・相談支援事業、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等。 理解促進研修・啓発事業のうち、新規事業としては、子どもの頃から障がいのある人との交流機会を増やし、「障がい」や障がいのある人への理解を深めるため、当事者等を講師として登録し、市内学校の依頼に基づき派遣する事業を実施（本年度中学校1校）。 ②任意事業・・・日中一時支援,、福祉ホーム事業、声の広報制作事業等。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所（3カ所）における相談件数	11,244	12,239	13,000	13,000	13,000	件
	目標達成率(実績/目標)		136.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	84,093,497	0	91,422,297	91,422,297	0
財源内訳	国庫支出金	13,295,000	0	13,611,000	13,611,000	0
	県支出金	6,631,000	0	6,789,000	6,789,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	64,167,497	0	71,022,297	71,022,297	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	基幹相談支援センター及び委託相談支援事業所（3カ所）における相談件数		成果指標に対する所見	相談者に対して障がい特性や状況に合わせた対応が実施できている。複雑な事案についても、基幹相談支援センターを中心に対応できており、目標は達成している。
	目標	9,000	件		
	実績	12,239	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	○ 共生社会の実現に向け、障がい者への理解促進に向けた啓発活動が必要。 ○ 困難事例も含めた増加し続ける多様な相談に対応できる相談支援体制の強化が必要。 ○基幹相談支援センターを中心とした 地域生活支援拠点の機能の強化が必要。 ○障がい者等の権利擁護及び意思決定支援の推進が必要	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善 ☑ 3.現状維持 □ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	現在実施している事業を継続実施していくとともに、基幹相談支援センターを中心に障がい者への相談支援体制の強化を図る。また、障がい者への理解促進に向けた研修等を実施する。
	令和7年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
実施計画名	5	社会保障の確保

めざす姿	国民健康保険など各種社会保険制度の安定的な運営に努めるとともに、国民年金制度の周知・啓発にも取り組んでいきます。また、生活保護受給世帯や生活困窮世帯など、経済的に困窮している方々が安定した生活を送ることができるように、自立に向けて適切な支援を行っていきます。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	生活困窮者自立支援事業	**担当部署**	健康福祉部 社会福祉課		
	実施方針	①自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的実施 ②住居確保給付金の支給 ③子どもの学習・生活支援事業の実施	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				32,140	32,140	32,140
	事業内容（R5）	①必須事業である自立相談支援事業（鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」）に加え、任意事業である就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的実施 ②離職等により住居を失った又はその恐れがある者への住居確保給付金の支給 ③子どもの学習・生活支援事業の実施 【対象者】市内の中学生の内、次の条件に当てはまる者とその保護者 1. 生活保護受給世帯　2. 自立相談支援センターへの相談者が属する世帯　3. ひとり親世帯のうち非課税世帯　4. 児童養護施設入所者世帯 5. 児童扶養手当受給世帯　6. 就学援助受給世帯　7. その他市長が認める世帯				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	「よりそい」における新規相談件数	198	170	180	180	180	件

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	32,140	0	32,140

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的実施 ・鳴門市生活自立相談支援センター「よりそい」において、自立相談支援事業を軸に、相談者の課題に応じ就労準備支援事業（長期無職） 家計改善支援事業（家計の収支バランスが悪い等）を一体的に実施することで、より効果的な相談支援ができる体制を構築 ・相談者の状況に応じて、ハローワーク・生活保護制度・障がいサービス相談機関等への繋ぎや、協働による支援を実施 ・自主事業として、フードバンク事業・無料法律相談を実施 ②住居確保給付金の支給 ・制度活用についての相談支援は「よりそい」、申請後の審査・決定は市困窮担当で実施 ③子どもの学習・生活支援事業の実施 ・週1回、市内5か所において実施 ・子どもに対する、学校の勉強の復習、宿題の習慣づけに加え、保護者にも家庭における学習環境を整えるための助言等の支援を実施 ・令和5年度より、従来の中学生に加え、対象を小学校5・6年生にまで拡大	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	「よりそい」における新規相談件数	166	136	180	180	180	件
	目標達成率(実績/目標)		75.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	30,609,407	0	31,212,000	31,212,000	0
財源内訳	国庫支出金	20,154,305	0	20,606,000	20,606,000	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	10,455,102	0	10,606,000	10,606,000	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	「よりそい」における新規相談件数		成果指標に対する所見	R4年度までの支援事業に付随する相談件数が多く含まれていたため、実績値は支援事業が終了したことにより減少した。
	目標	180	件		
	実績	136	件		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	生活困窮者からの相談にはひきこもりに象徴される複雑化・多様化した社会問題も背景に潜んでいることから、課題解決には長期間にわたる継続した支援が必要となる。また、自立相談支援事業に加え、就労準備支援事業・家計改善支援事業を一体的に実施しているものの、障がいや疾病により医療や福祉サービスの活用が同時に必要となる場合もあることから、他機関との連携により課題解決を図る体制整備も必要である。 相談件数の増減は感染症の流行や物価高騰などの社会情勢にも影響されるが、市民や庁内外関係機関に対して継続的に「よりそい」の活動を周知しつつ、生活困窮者の自立に向けた丁寧な支援を積み重ねることが必要である。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	現在の実施している各事業を継続実施していくと共に、国・県が実施する研修への積極的な参加により専門性を高めるほか、支援調整会議等を通じて他機関との連携を強化するなど、複雑化・多様化した生活困窮者が抱える諸課題に対応できる相談支援体制を構築していく。
	令和7年度	令和6年度の実施状況に応じて明らかになる課題に対し、専門性の強化や他機関連携により、より強固な相談支援体制を構築していく。 また必要に応じ、国の補助事業を最大限に活用しつつ、新たな支援事業の導入を研究していく。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	1	活力ある商工業の振興

めざす姿	新商品開発や販路拡大など地元企業の新たなチャレンジ、生産性向上・業務効率化といった経営基盤強化への取組を支援するとともに、企業間連携を促進することにより、地元企業が成長するビジネス環境を整え、地域経済の活性化を図ります。 サテライトオフィスをはじめ、企業誘致に積極的に取り組み、雇用創出や税収の確保はもちろん、地域課題の解決や交流人口・関係人口の拡大など、地域活性化につなげます。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業（ふるさと納税寄附金等推進事業）	**担当部署**	企画総務部 戦略企画課		
	実施方針	①道の駅「くるくる なると」管理運営事業者との連携 ②商品開発による記念品拡充と地場産品のPR推進 ③ポータルサイト等での情報発信の強化	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				387,343	387,343	387,343
	事業内容（R5）	①道の駅との業務連携 ・道の駅と連携し、地場産品を活用した商品開発を推進する ・ふるさと納税業務の委託による業務円滑化や寄附者対応の柔軟性向上により、効率的な事業体制を構築する ②記念品の拡充による鳴門の地場産品PRの推進 ・市内事業者等への新規掲載提案を行う ・地場産品を用いた新規商品ブランドの開発および展開に注力する ③ポータルサイト等での情報発信の強化 ・サイト内プロモーションやキャンペーン等による、市全体のシティプロモーションや地場産品のPRを行う ④寄附金の事業化の推進 ・ガバメントクラウドファンディング事業の実施検討等、寄附者の意向に基づく適正な事業化を推進する				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	ふるさと納税寄附金額	414,111	500,000	600,000	800,000	900,000	千円

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	387,343	90,172	477,515

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①道の駅（地域商社）と連携し、道の駅の売れ筋品をふるさと納税返礼品として取り扱った。 ②継続的に事業者からの提案を受け入れ、記念品の拡充を行うことで、鳴門の地場産品PRの推進を図った。 ③ポータルサイト内の情報発信力強化を目的としたSEO対策、サムネイル改善を継続して実施したり、 利用可能なポータルサイトを拡充したりするなど、幅広い寄附者層の獲得に取り組んだ。 ④3件のクラウドファンディング型ふるさと納税事業を採択し、寄附金の事業化を行った。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	ふるさと納税寄附金額	481,636	730,640	800,000	900,000	1,000,000	千円
	目標達成率(実績/目標)		121.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	292,747,310	0	448,818,070	448,818,070	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	292,747,310	0	448,818,070	448,818,070	0
	一般財源	0	0	0	0	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ふるさと納税寄附金額		成果指標に対する所見	目標額を上回っているため、引き続き寄附金額増加にむ向けた取り組みを進める。
	目標	600,000	千円		
	実績	730,640	千円		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	寄附金の実績に関して、県内では上位に位置するものの全国的に見ると高い水準とは言えないので、 今後も魅力ある商品の開発や情報発信の強化などに継続して取り組む必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	ふるさと納税の制度改正等に対応しつつ、引き続き寄附金の拡充に向けた施策を進める。
	令和7年度	ふるさと納税の制度改正等に対応しつつ、引き続き寄附金の拡充に向けた施策を進める。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	1	活力ある商工業の振興

めざす姿	新商品開発や販路拡大など地元企業の新たなチャレンジ、生産性向上・業務効率化といった経営基盤強化への取組を支援するとともに、企業間連携を促進することにより、地元企業が成長するビジネス環境を整え、地域経済の活性化を図ります。 サテライトオフィスをはじめ、企業誘致に積極的に取り組み、雇用創出や税収の確保はもちろん、地域課題の解決や交流人口・関係人口の拡大など、地域活性化につなげます。

◎事業概要（PLAN）

事業②	**事業名**	企業誘致推進事業	**担当部署**	産業振興部 商工政策課		
	実施方針	①企業誘致活動の実施 ②企業立地候補地のリスト化・条件整備 ③サテライトオフィス誘致 ④立地企業への支援	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				19,924	8,318	8,318
	事業内容（R5）	①企業誘致活動の実施 ・徳島県や金融機関、デベロッパー等との連携、県内・市内企業訪問の実施 ・製造業だけでなく、情報通信関連産業、地域活性化につながる商業施設など、幅広く誘致活動を展開 ②企業立地候補地のリスト化・条件整備 ・宅建協会と連携し、企業立地候補地のリスト化や企業に提案できる条件整備を推進 ・休校施設など公共施設の有効活用 ③サテライトオフィス誘致 ・地方進出に興味・関心のある都市部企業とのマッチングイベントに参加 ・都市部企業と地元企業のマッチングにより新たなビジネスを創出 ・地元企業紹介等、企業誘致専用WEBサイト「NARUTO.biz」による情報発信 ④立地企業への支援 ・企業立地奨励条例による税制支援・補助金交付 ・サテライトオフィス等誘致支援事業補助金の交付				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	企業誘致件数（サテライトオフィス含む）	1	1	2	2	2	件

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	19,924	△ 130	19,794

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	・徳島県や金融機関等と連携し、さまざまな業種の立地検討企業へ情報提供・相談対応を行うなど、幅広く誘致活動を展開した。 ・公共施設の有効活用として、旧大麻学校給食センター施設を活用した企業誘致を行った。 ・宅建協会と連携し、企業立地候補地のリスト化や土地利用にかかる所有者の意向確認など、進出検討企業に候補地を提案できるよう条件整備を行った。 ・サテライトオフィス誘致に向け、マッチングイベントに参加し、オンライン商談、視察受入れを通じて立地促進を図った。 ・立地企業への支援として、企業立地奨励条例の奨励事業所として1社を指定するとともに、1社にサテライトオフィス等誘致支援事業補助金を交付した。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	企業誘致件数（サテライトオフィス含む）	3	3	2	2	2	件
	目標達成率(実績/目標)		150.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	25,226,382	0	16,376,640	16,376,640	0
財源内訳	国庫支出金	11,524,942	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	13,701,440	0	16,376,640	16,376,640	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	企業誘致件数（サテライトオフィス含む）		成果指標に対する所見	サテライトオフィスが2箇所開設され、地元企業との協業により活性化が図られるとともに、企業立地奨励条例については、建設業1社を奨励事業所として指定した。
	目標	2	件		
	実績	3	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	本市に2箇所ある産業団地は全区画分譲済であり、新たに企業立地が可能な候補地についてリストアップをすすめるとともに、土地利用にかかる所有者の意向確認をはじめ、検討企業に提案できる条件整備を行っていく必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	・徳島県や金融機関等と連携し、製造業や商業施設、情報通信関連産業など幅広く誘致活動を展開 ・宅建協会と連携し、立地候補地のリスト化や土地利用にかかる所有者の意思確認を実施 ・マッチングイベントへの参加やオンライン商談・視察受入れなど、サテライトオフィスを誘致 ・企業立地奨励条例・サテライトオフィス等誘致支援事業補助金による税制支援・補助金の交付 ・実証実験の場として本市での事業活動を支援するなど、スタートアップ企業を誘致
	令和7年度	・前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	2	魅力ある農林水産業の振興

めざす姿	農業・水産業の生産性の向上や生産基盤の保全・利用促進をはじめ、農水産物のブランド化、六次産業化など、販売促進や販路開拓・拡大に向け積極的に取り組みます。 また、地産地消を推進し、地元農水産物の普及に努めます。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	鳴門ブランド強化事業（農業）	**担当部署**	産業振興部　農林水産課		
	実施方針	①地域農業の担い手の育成・確保 ②農産物のブランド化の推進	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				43,053	37,803	37,803
	事業内容（R5）	①地域農業の担い手の育成・確保 ・認定農業者の育成・確保、新規就農者への支援 ②農産物のブランド化の推進 ・鳴門ブランドの推進 ・農産物の六次産業化への支援 ・コウノトリブランド認証制度の推進				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	認定農業者数	412	413	422	427	432	件

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	43,053	△ 15,820	27,233

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①地域農業の担い手の育成・確保 ・市内各JA・県・農業支援センターと連携し、認定農業者の認定更新の推進を行い、また、新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。 ・国の補助制度を活用しながら、新規就農者への支援に総合的に取り組んだ。 ②農産物のブランド化の推進 ・鳴門ブランド農産品を確立、ブランド産地の生産振興を図るため、「れんこん食害対策」への取組や「鳴門市ブランド産地振興補助金」による、かんしょ・れんこん栽培農家への支援を行った。また、「鳴門市経営基盤強化支援事業補助金」により、梨の花粉確保に向けた取組を実施した。 ・「農漁業六次産業化推進支援事業補助金」により、農産物の販売促進や米の粉砕機導入への支援を行った。また、関西方面への市場訪問や量販店でのフェアを実施した。 ・コウノトリブランド認証制度の周知の一環として市民ギャラリーにおいて展示を実施した。また、周辺対策事業として、観察マナーの周知看板の修繕を行った。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	認定農業者数	415	427	429	434	439	件
	目標達成率(実績/目標)		101.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	58,124,438	0	21,827,000	21,827,000	0
財源内訳	国庫支出金	35,100,000	0	0	0	0
	県支出金	14,250,000	0	14,999,000	14,999,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,801,000	0	500,000	500,000	0
	一般財源	6,973,438	0	6,328,000	6,328,000	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	認定農業者数		成果指標に対する所見	目標到達することができたが、今後も各JA・県・農業支援センターと連携しながら、認定農業者数の増加に向けた取組を進めていく。
	目標	422	件		
	実績	427	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	本市農業の課題である、「地域農業の担い手の育成・確保」に向け、市内JAや県、支援センターと連携し、引き続き取組を進めていく必要がある。また、「農産物のブランド化の推進」についても、課題解決に向け、引き続き対策を進めていく必要がある。	
今後の方向性	□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	令和4年3月に策定した「鳴門市農業振興計画」に基づき、「地域農業の担い手の育成・確保」、「農産物のブランド化の推進」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。
	令和7年度	令和4年3月に策定した「鳴門市農業振興計画」に基づき、「地域農業の担い手の育成・確保」、「農産物のブランド化の推進」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	2	魅力ある農林水産業の振興

めざす姿	農業・水産業の生産性の向上や生産基盤の保全・利用促進をはじめ、農水産物のブランド化、六次産業化など、販売促進や販路開拓・拡大に向け積極的に取り組みます。 また、地産地消を推進し、地元農水産物の普及に努めます。

◎事業概要（PLAN）

事業②	**事業名**	鳴門ブランド強化事業（水産）	**担当部署**	産業振興部 農林水産課・水産振興室		
	実施方針	①担い手の育成・確保 ②水産資源の保全 ③漁業経営の安定化とブランド化の推進 ④漁業生産基盤の整備	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				49,736	20,682	20,682
	事業内容（R5）	①担い手の育成確保 ・鳴門市うずしお漁業者青年部の活動支援 ②水産資源の保全 ・掃海事業の実施 ・海岸漂着ごみ対策 ・種苗放流等への支援 ③漁業経営の安定化とブランド化の推進 ・ブランド化の推進 ・地産地消の推進 ④漁業生産基盤の整備 ・漁業施設の維持管理 ・漁協への支援				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	養殖漁業経営体数（わかめ・魚類等）	205	198	198	198	198	件

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	49,736	△ 2,107	47,629

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	①担い手の育成確保 ・「鳴門市若手漁業者人材育成事業」として、市内の若手漁業者で組織する「鳴門市うずしお漁業者青年部」の活動支援を行った。 ・「鳴門市うずしお漁業者青年部」と市長との座談会を開催し、今後の市水産業の振興に係る意見交換を行った。 ②水産資源の保全 ・掃海事業を実施し、海底の堆積物の除去を行った。 ・水産多面的機能発揮対策事業として、海岸漂着ごみの清掃作業に対する支援を行った。 ・徳島県漁業協同組合連合会や市内漁協が実施する種苗放流事業に対し、支援を行った。 ③漁業経営の安定化とブランド化の推進 ・国内親善都市である群馬県桐生市において、鳴門わかめのPRを行った。 ・鳴門ウチノ海新鮮市の開催支援を行うことにより、地産地消の推進を図った。 ④漁業生産基盤の整備 ・市内漁協が実施する共同利用施設の整備に対し支援を行った。 ・漁港内の安全な航路確保を目的として、亀浦漁港（八木の鼻地区）の浚渫工事を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	養殖漁業経営体数（わかめ・魚類等）	198	190	198	198	198	件
	目標達成率(実績/目標)		96.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	50,431,683	0	45,189,799	45,189,799	0
財源内訳	国庫支出金	16,950,000	0	0	0	0
	県支出金	1,584,000	0	3,578,000	3,578,000	0
	地方債	0	0	29,000,000	29,000,000	0
	その他	2,613,860	0	3,930,260	3,930,260	0
	一般財源	29,283,823	0	8,681,539	8,681,539	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	養殖漁業経営体数（わかめ・魚類等）		成果指標に対する所見	漁業者の高齢化による経営体数の減少は進んでいるが、各種施策の推進により、経営体数の維持を図ることができた。
	目標	198	件		
	実績	190	件		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	市内水産業における課題である、「担い手の育成確保」、「水産資源の保全」、「漁業経営の安定化とブランド化の推進」、「漁業生産基盤の整備」に対し、市内漁協や徳島県、徳島県漁業協同組合連合会とも連携し、引き続き対策を進める必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	令和4年3月に策定した「鳴門市水産振興計画」に基づき、「担い手の育成確保」、「水産資源の保全」、「漁業経営の安定化とブランド化の推進」、「漁業生産基盤の整備」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。
	令和7年度	令和4年3月に策定した「鳴門市水産振興計画」に基づき、「担い手の育成確保」、「水産資源の保全」、「漁業経営の安定化とブランド化の推進」、「漁業生産基盤の整備」等の課題解決に向けた各種施策を推進する。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	3	地域資源を活かした観光のまちづくり

めざす姿	豊かな自然や歴史、文化など地域資源を活かし、観光地の魅力向上や賑わいと交流を創出するとともに、各種情報媒体を活用したプロモーション強化を図ることにより、観光振興を推進します。 また、外国人を含めた観光客の受入環境整備を推進します。

◎事業概要（PLAN）

事業①

事業名	観光誘客推進事業	**担当部署**	産業振興部 観光振興課
実施方針	①滞在型観光の推進 ②情報発信強化 ③国内外観光客の受入環境整備	**事業費推移（千円）**	令和5年度 37,800 令和6年度 12,200 令和7年度 11,930
事業内容（R5）	①世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業 ・地域事業者と連携したグルメ開発 ・旅行サイトやSNS等を活用したブランド力の向上 ・セミナー開催等による地域事業者の育成 ②観光プロモーションの推進 ・SNS等を活用した国内外への情報発信及びメディア向け情報発信の強化 ③受入環境整備の推進 ・大阪・関西万博に向けた観光客受入環境整備推進事業補助事業		

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	鳴門市観光入込客数	116	240	260	320	340	万人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	37,800	1,053	38,853

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①

事業実施内容（R5）

①世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業
滞在型観光の推進を図るため、南あわじ市及び両市の事業者等と共同で、令和3年度より広域観光ブランディング事業を実施している。令和5年度の実施内容は次のとおり。
令和9年度の大鳴門橋の自転車道完成を見据え、サイクリスト向けに地元食材を使用した「カップイングルメ」を開発したほか、2市の特産食材を使った「新・ご当地料理　うずの幸グルメ」第三弾を開発した。
当該事業のホームページである「うずしおぐるぐる」を随時更新し、事業にかかる情報発信を実施した。
地域事業者の育成を図るため、観光体験プログラム勉強会、インバウンド受入勉強会及びショートムービー作成セミナーを開催した。
②観光プロモーションの推進
鳴門市観光公式instagramアカウントを開設し、情報発信を実施した。
メディア向け情報発信として、鳴門市公式観光サイトに「なるとロケサポ」ページ及び「フリー素材」ページを開設したほか、ロケ誘致用冊子「トルナラナルト」を制作し、メディア等に対してロケ誘致の推進及び本市観光素材のPRを実施した。
③受入環境整備の推進
観光関連事業者の観光客受入環境整備や誘客事業を推進するため、大阪・関西万博に向けた観光客受入環境整備推進事業補助金制度を創設し、観光関連事業者に対して補助金を交付した。【活用例：トイレの改修、ホームページの更新、旅行博等への出展、パンフレットの更新・印刷等】
④滞在型観光推進事業（9月補正予算）
市内二次交通の充実や市内での宿泊を促すため、レンタカー利用者宿泊助成事業を実施した。
⑤ナイトタイムコンテンツ造成推進事業（9月補正予算）
滞在型観光の推進及び観光における消費の拡大を図るため、ナイトタイムコンテンツを造成する事業者等に対し補助金を交付し、夜の観光コンテンツの充実を図った。
滞在型観光の推進を図るため、鳴門市内で20時以降に営業している店舗（居酒屋、バー、夜カフェ、銭湯等）を掲載した冊子「鳴門夜探（なるとよるたん）」をデータ及び紙媒体で作成し、ウェブ上で公開するなど情報発信を実施した。

成果指標
対象にどのような効果があったか示す指標

指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
鳴門市観光入込客数	247	322	320	340	340	万人
目標達成率(実績/目標)		123.8	－	－	－	%

事業費推移（円）

年度		令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
計		24,742,970	0	30,504,541	30,504,541	0
財源内訳	国庫支出金	12,371,485	0	11,488,399	11,488,399	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	7,269,000	7,269,000	0
	一般財源	12,371,485	0	11,747,142	11,747,142	0

◎評価（CHECK）

事業①

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価

指標名	鳴門市観光入込客数	
目標	260	万人
実績	322	万人
評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見
令和4年4月にオープンした道の駅くるくるなるとの影響もあり、入込客数については目標を達成することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

事業①

課題
①滞在型観光推進事業
・広域観光ブランディング事業は、参画事業者等による自走ができるよう支援を行う必要がある。また、レンタカー利用者宿泊助成事業については、利用者増加に向けて参画宿泊事業者を増やすとともに、利用者への周知を図る。
②情報発信強化事業
・市公式観光サイトの情報を充実させるとともに、分かりやすく見やすいサイトとなるよう改修することで、本市への来訪につなげる。
・より鮮度の高い情報発信を行うため、令和5年度に開設したinstagram等を活用し、タイムリーな情報発信を実施する。
③受入環境整備事業
・新たに災害対応等強化事業を加えるなど、既存の大阪・関西万博に向けた観光客受入環境整備推進事業補助金を充実させ、観光客の受入環境整備の促進を図る。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容

令和6年度	**①滞在型観光推進事業** ・世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業 地域事業者が主体となったグルメ開発、人材育成等の実施 ・レンタカー利用者宿泊助成事業 **②情報発信強化事業** ・観光案内所リモートシステム導入等に向けた試験的運用業務 ・鳴門市公式観光サイト改修業務 ・SNS等を活用した国内外への情報発信及びメディア向け情報発信業務 **③受入環境整備事業** ・大阪・関西万博に向けた観光客受入環境整備推進事業
令和7年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	5	活力あふれるまちづくり
実施計画名	3	地域資源を活かした観光のまちづくり

めざす姿	豊かな自然や歴史、文化など地域資源を活かし、観光地の魅力向上や賑わいと交流を創出するとともに、各種情報媒体を活用したプロモーション強化を図ることにより、観光振興を推進します。 また、外国人を含めた観光客の受入環境整備を推進します。

◎事業概要（PLAN）

事業②	**事業名**	四国のゲートウェイ推進事業（再掲）	**担当部署**	産業振興部 観光振興課 企画総務部 戦略企画課		
	実施方針	①四国内外からの交流人口の増加 ②市内の賑わい創出	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				10,700	10,700	10,700
	事業内容（R5）	①四国のゲートウェイ推進イベントの共催 ・民間団体等と四国内外から集客できるイベントを共催 ②イルミネーション設置補助事業 ・民間団体等が実施するイルミネーション事業に対し補助金を交付 ③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業 ・本プロジェクトの中核施設とし設置された交流拠点施設（ゲート）が実施する施設整備・改修・イベント等に対し補助金を交付				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	交流人口の数（イベント・イルミネーション）	31,800	19,200	30,000	40,000	40,000	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	10,700	0	10,700

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業②		
事業実施内容（R5）		**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** 四国内外からの交流人口の増加を図るため、鳴門板野青年会議所と共催でキッチンカー等が出店する「F.A.F　フードアートフェスタ」を開催した。 **②イルミネーション設置補助事業** 市内の賑わいづくりを図るため、市所有のLED等イルミネーション機器を民間団体へ貸し出すとともに、イルミネーションを実施する団体等に対して補助金を交付した。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** 本プロジェクトを推進するため、南ゲートに位置付けている農産物直売所「えがお」において、売り場環境の機能強化を図るための事業を行う大津松茂農業協同組合に対して補助金を交付するとともに、中央ゲートに位置付けている観光情報センターにおいて、賑わい創出を図るためのイベントや「情報発信」「案内」等の機能の向上を図る設備改修事業を行う鳴門市観光コンベンション㈱へ補助金を交付した。

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	交流人口の数（イベント・イルミネーション）	15,000	29,058	40,000	40,000	40,000	人
	目標達成率(実績/目標)		96.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	6,179,000	0	9,696,000	9,696,000	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	6,179,000	0	8,700,000	8,700,000	0
	一般財源	0	0	996,000	996,000	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	交流人口の数（イベント・イルミネーション）		成果指標に対する所見	各事業については計画どおり実施することができ、概ね目標を達成することができた。
	目標	30,000	人		
	実績	29,058	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題		**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** 四国外からの集客をより増加させる必要があるため、情報発信方法の見直し・改善を実施すること。 **②イルミネーション設置補助事業** 単なるイルミネーションの設置だけにとどまらないよう、イベント等ナイトタイムコンテンツとの相乗効果を狙った事業とすること。 **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** 事業効果を高められるよう、制度の活用にあたっては引き続き交流拠点施設（ゲート）を運営する事業者と十分に協議を行い、事業計画段階からの支援に努めること。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	**①四国のゲートウェイ推進イベントの共催** ・民間団体等と四国内外から集客できるイベントを共催する **②ナイトタイムコンテンツ造成推進事業補助金** ・事業者及び団体等が実施するナイトタイムコンテンツ造成事業に対し補助金を交付する **③四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援事業** ・交流拠点施設（ゲート）が実施する施設整備や改修、本プロジェクトを推進するために実施されるイベント等に対し補助金を交付する
	令和7年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	1	地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり

めざす姿	協働のパートナーとなる自治振興会と連携を図ることで、地域コミュニティ活性化の支援に努めます。また、ボランティアやNPO法人などの市民活動を支援するとともに、市民と行政が協働して取り組むまちづくりを推進します。

◎事業概要（PLAN）

事業①					
事業名	市民協働のまちづくり推進事業	担当部署	市民生活部　市民協働推進課		
実施方針	①地域コミュニティ活動の活性化 ②協働・参画への意識醸成	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			17,309	17,309	17,309
事業内容（R5）	①地域コミュニティ活動の活性化 ・「地域づくり事業活性化補助金」を活用した地域づくり事業の支援 ・コミュニティ研修会や市民活動交流研修会の開催 ・地区自治振興会会長会等の開催による地域との連携強化 ②協働・参画への意識醸成 ・市民協働推進本部会議の開催と職場内研修の実施 ・広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等による情報発信 ・音響機器、テント、車両等の無償貸し出し				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	市民等との協働事業数	154	154	160	160	160	件

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	17,309	0	17,309

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①地域コミュニティ活動の活性化 ・「地域づくり事業活性化補助金」を活用し、各地区の地域づくり事業を支援した。 ・7月7日にコミュニティ研修会を開催、1月27日に他イベントと合同で市民活動交流研修会を開催した。 ・地区自治振興会会長会等を開催し、地域との連携強化・情報共有を行うとともに、4年ぶりに鳴門のまつりを子どものまちフェスティバルと同時開催した。 ②協働・参画への意識醸成 ・市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、より効率的・効果的な職場内研修の実施内容等について検討した。 ・広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等を活用し、市民団体の活動予定や活動状況、会員・参加者の募集などの周知を行い、団体活動のサポートを行うなど、まちづくりに関する情報の集約・発信を行った。 ・市民の地域活動を支援するため、公用車、音響機器、テント、感染症対策用備品などの備品を貸し出した。 ・子ども（小学6年生）向け自治基本条例パンフレットを市内小学校に配布、また市内在住の小学6年生を対象に一日鳴門市長体験を実施し、今後のまちづくりの担い手となる子どもたちの理解を深めた。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	市民等との協働事業数	161	161	160	160	160	件
	目標達成率(実績/目標)		100.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	17,854,386	0	16,310,023	16,310,023	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	5,000,000	0	1,600,000	1,600,000	0
	一般財源	12,854,386	0	14,710,023	14,710,023	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	市民等との協働事業数		成果指標に対する所見	今後も、市民との情報共有を図りながら各種事業を進めていきたい。
	目標	160	件		
	実績	161	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		○地区自治振興会と連携し、地域活動への参加促進を図るための効果的な支援や周知、施策等を検討していく必要がある。 ○自治基本条例や協働の理念の浸透を図るため、引き続き、市公式ウェブサイト等で広く周知・啓発を行っていくとともに、職員についても研修の効率化や充実を図るなどにより協働に対する意識向上を進める。
実施内容	令和6年度	・「地域づくり強化イベント活性化補助金」を新設し、コミュニティの連携強化や活性化を図ることを目的とした新たな住民交流イベントに対して助成を行う。 ・「町内会加入促進パンフレット」の配布や町内会への取り次ぎを行うなど、加入や地域活動への参加促進に努める。 ・広報紙や市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」等を通じて、まちづくりに関する情報の発信・集約を継続していく。 ・子どもの参画機会拡大のため、小学6年生を対象に実施している市民協働教育について、教材の見直しや施策等を実施していく。 ・市民協働推進本部会議やワーキンググループ等を開催し、協働のまちづくりのさらなる拡充等について検討を行う。
	令和7年度	令和6年度と同様。

今後の方向性				
	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	1	地域コミュニティの活性化とみんなで取り組むまちづくり

めざす姿	協働のパートナーとなる自治振興会と連携を図ることで、地域コミュニティ活性化の支援に努めます。また、ボランティアやNPO法人などの市民活動を支援するとともに、市民と行政が協働して取り組むまちづくりを推進します。

◎事業概要（PLAN）

事業②	事業名	広報戦略推進事業	担当部署	企画総務部 秘書広報課		
	実施方針	①効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施 ②写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」の実施 ③イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の作成、配布 ④市公式ウェブサイトへのAIチャットボット導入及び市公式LINEの機能拡充	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				24,252	24,247	24,247
	事業内容（R5）	①効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施 ・市政に関する情報や市内の出来事、動きなどを市民に分かりやすく伝えるため、広報紙・テレビ広報の構成やレイアウトの工夫 ・メディアミックスやクロスメディアなどの手法を活用した情報発信の推進 ・Twitter、YouTubeなどのSNSを活用した、市内外の若い世代への情報発信の推進 ②写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」の実施 ・写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である第8回写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」の実施 ③イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の作成、配布 ・イメージアップ小冊子「鳴門やけん」新刊の発行及び市内外の各施設等への配布、市内の小学校5年生へのダイジェスト版の配布 ④市公式ウェブサイトへのAIチャットボット導入及び市公式LINEの機能拡充 ・市民の方へより分かりやすく情報発信を行うため、市公式ウェブサイトへのAIチャットボット導入及び市公式LINEの機能拡充を行う				

	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	広報モニターの肯定的評価 （広報紙、テレビ広報、SNSの内容について毎月アンケートを実施しており、各設問に対して、5段階評価のうち「たいへん良い」「良い」と回答した人の割合の平均値）	87.6	86.3	90	90	90	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	24,252	0	24,252

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	①効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動を実施し、市政に関する情報や市内の出来事、動きなどを市民に分かりやすく伝えるため、メディアミックスやクロスメディアなどの手法を活用した情報発信の推進し、広報紙やウェブサイトから鳴門市公式X、YouTube「鳴門市KoHoさん」などのSNSへ誘導するよう心がけた。 ②第8回写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」を実施し、写真1444点、動画61点の計1505点の応募があった。 ③イメージアップ小冊子「鳴門やけん」を市内外の各施設等へ配布し、市内の小学校5年生へダイジェスト版を配布した。 ④市民の方へより分かりやすく情報発信を行うため、市公式ウェブサイト等へのAIチャットボット導入を行うとともに、AIチャットボットには、市イメージキャラクター「にゃるひげ」を使用した。「子ども」に関する情報のみの発信であったLINEを市公式LINEとして集約することで、市政に関する情報や市内の出来事、動きなどを市民に分かりやすい情報発信に努めた。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	広報モニターの肯定的評価 （広報紙、テレビ広報、SNSの内容について毎月アンケートを実施しており、各設問に対して、5段階評価のうち「たいへん良い」「良い」と回答した人の割合の平均値）	84	79	90	90	90	%
	目標達成率(実績/目標)		87.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	16,787,747	0	20,638,275	20,638,275	957,000
財源内訳	国庫支出金	0	0	545,050	545,050	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,079,691	0	2,735,693	2,735,693	0
	一般財源	14,708,056	0	17,357,532	17,357,532	957,000

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	広報モニターの肯定的評価 （広報紙、テレビ広報、SNSの内容について毎月アンケートを実施しており、各設問に対して、5段階評価のうち「たいへん良い」「良い」と回答した人の割合の平均値）	成果指標に対する所見	約8割の肯定的評価をいただいており、目標は概ね達成とする。今後も広報媒体全体の内容を充実させ、市民や広報モニターの評価を向上させるように努力する。
	目標	90 %		
	実績	79 %		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題		広報媒体全体として、難しい内容や堅苦しいと捉えられる行政情報をいかに分かりやすく伝え、興味を持っていただけるかという点に課題がある。解決策として、広報紙では写真やイラストを多用することで、内容が一目でわかるような紙面作りを心がけ、より効果的な広報活動を実施する必要がある。事業開始後2年経過したYouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」はエンターテインメント性だけでなく、市政に関する情報や市内の出来事、動きなどを市民に分かりやすく伝えることに努めていく。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。特に、主なターゲットが若年層であるSNSによる情報発信を強化し、鳴門市公式LINE、YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」などの媒体を活用し、即時性のある発信を行う。
	令和7年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。特に、主なターゲットが若年層であるSNSによる情報発信を強化し、鳴門市公式LINE、YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」などの媒体を活用し、即時性のある発信を行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	2	お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり

めざす姿	性別や年代を問わず、個性が輝き、活躍できる社会を実現するため、人権に関する教育と啓発活動の充実に努めます。 また、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業①	**事業名**	人権啓発推進事業	**担当部署**	健康福祉部 人権推進課・人権福祉センター		
	実施方針	国の人権啓発活動地方委託金を活用した、人権セミナーをはじめとする各種人権啓発事業を実施し、人権意識の高揚や人権課題への理解促進を図る。 また、鳴門市人権文化祭が第50回目を迎える節目年となり、あらゆる年代層に対し、さらなる人権意識の普及・高揚を図るとともに、特に若年層（学生等）の来館者数を確保し、様々な人権問題についての学習の場となるよう努める。	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				3,223	3,223	3,223
	事業内容（R5）	①第30回鳴門市人権セミナー（計2回） ②人権の花運動 ③人権スポーツ事業 ④人権フェスティバル ⑤第50回人権文化祭開催事業				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	人権文化祭来場者数	3,439	2,776	3,500	3,000	3,000	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	3,223	△ 875	2,348

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①部落差別とLGBT理解増進法をテーマとした人権セミナーを計2回実施した。 ②人権の花運動は、鳴門中学校区の鳴門東小学校・鳴門西小学校の児童を対象として実施した。 ③明神小学校の児童を対象とした人権スポーツ事業を総合型地域スポーツクラブと連携して実施し、人権について幼少期からの意識啓発を行った。 ④市民が親しみやすく、楽しみながら参加できる人権啓発活動として人権フェスティバルを実施した。 ⑤人権文化祭で人権啓発取組パネルや作文、書道などの展示、中学生による人権劇や、記念講演会の開催などを通して人権教育・啓発活動を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	人権文化祭来場者数	2,776	2,811	3,000	3,000	3,000	人
	目標達成率(実績/目標)		80.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	1,331,636	0	1,516,165	1,516,165	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	877,000	0	585,000	585,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	454,636	0	931,165	931,165	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数		成果指標に対する所見	今年度、青少年会館が人権福祉センター2階部分に移転となった影響により減少したが、50周年記念として盛大にイベントを開催し規模を拡大したことで新型コロナウイルスの感染の落着きと相まって全体として昨年度より増加し、概ね目標を達成できた。
	目標	3,500	人		
	実績	2,811	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題	魅力ある人権セミナーを開催するために、市民が身近に感じられ関心を持つことができるテーマを設定するなどして効果的かつ効率的に啓発を行う必要がある。人権啓発活動事業委託金を活用した人権啓発活動を引き続き実施できるように、他課やスポーツ関係団体等とも連携しながら、市民・子ども等に対する人権啓発活動の充実を図っていく。 また、今後も人権文化祭開催事業を継続して実施し、人権意識の普及・高揚を図る。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	人権啓発活動地方委託金を活用し、引き続き現在注目されている人権課題をテーマに人権セミナーを開催するとともに、より多くの市民が気軽に参加できる総合的な人権啓発活動として、人権フェスティバルを開催する。 各種関係団体等と連携して、人権の花運動や人権スポーツ事業を実施するなど、市民等への啓発活動の充実を図っていく。 また、引き続き人権文化祭開催事業を実施し、人権意識の普及・高揚を図る。
	令和7年度	人権セミナー・人権スポーツ事業・人権フェスティバル・人権文化祭等を開催し、引き続き人権啓発に努める。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	2	お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり

めざす姿	性別や年代を問わず、個性が輝き、活躍できる社会を実現するため、人権に関する教育と啓発活動の充実に努めます。 また、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業②	**事業名**	人権教育推進事業	**担当部署**	教育委員会 総合教育人権課		
	実施方針	①市主催人権問題研修会等の実施 ②人権教育推進協議会の活動支援 ③その他、人権教育啓発活動の実施	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				3,135	3, 135	3,135
	事業内容（R5）	①市主催人権問題研修会等の実施 ・人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ・人権教育研究大会（鳴門中学校区）の開催 ②人権教育推進協議会の活動支援 ・人権教育推進協議会との連携による啓発活動（研修会等）の実施 ・活動、運営補助 ③その他、人権教育啓発活動の実施 ・広報での人権啓発記事の掲載、人権啓発リーフレットの作成配布等 ・街頭啓発活動の実施 ・各種人権問題研修会への参加				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	人権問題研修会への参加者数	158	269	900	950	950	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	3,135	0	3,135

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	○ 人権地域フォーラム（8/23）、ヒューマンライツメッセージなると（11/4）を開催した。 ○ 人権教育推進協議会の活動を総会（5/30）、企業部会総会（6/6）において支援するとともに、人権啓発を協力して行なった。 ○ 人権啓発活動として、「広報なると」での人権啓発記事の掲載を行った。 ○ 鳴門市人権教育研究大会（11/28）を開催し、人権教育推進のための公開授業・公開保育や研究討議を行った。 ○ 企業部会では、障がい者雇用を積極的に行っている企業へ視察に伺い、交流研修を行った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	人権問題研修会への参加者数	133	757	800	900	1,000	人
	目標達成率(実績/目標)		84.1	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	令和6年度への繰越額
	計	2,377,511	0	2,121,053	2,121,053	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	333,000	0	118,000	118,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,044,511	0	2,003,053	2,003,053	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	人権問題研修会への参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、席を一定距離空ける等の措置を取りながらも、研修会等を実施することができた。すべての人権問題解決につなげていく人権教育・啓発の場として各種研修会等がその役割を果たせるよう、引き続き取り組む必要がある。
	目標	900	人		
	実績	757	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題		インターネット上やSNSでの人権侵害など人権問題が複雑化・多様化している状況の中、市人権教育推進協議会と連携を強め、人権地域フォーラム、ヒューマンンライツメッセージなると、人権教育研究大会などの人権問題研修会の開催や、広報なるとへの人権啓発記事の掲載、街頭啓発等を実施し、「部落差別解消法」の周知徹底を図るとともに、同和問題をはじめとするすべての人権問題解決につなげていく人権教育や啓発を積極的に推進する。 研修会等への参加者が固定化している現状もあり、差別を許さない市民運動を広げていくためにも、わかりやすく理解しやすい内容とするなど、啓発手法の工夫と改善に取り組む必要がある。
今後の方向性		□ 1.廃止　□ 2.要改善　☑ 3.現状維持　□ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	・さまざまな差別事象の抑止に向け、人権啓発活動に引き続き取り組む。 ・あらゆる人権問題に対して、一人ひとりが正しい理解と認識を深め、人権を尊重する行動をとることができるように、研修テーマや方法などの検討を行う。 ・人権啓発記事を広報なるとに掲載するとともに、市公式ウェブサイト等を活用して、市民の人権意識の向上を図る。 ・より多くの市民の人権学習機会の創出のため、人権推進課における人権フェスティバルと協働する形式でヒューマンンライツメッセージなるとを開催する。
	令和7年度	令和6年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	2	お互いを尊重し、誰もが活動できる社会づくり

めざす姿	性別や年代を問わず、個性が輝き、活躍できる社会を実現するため、人権に関する教育と啓発活動の充実に努めます。 また、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成に取り組みます。

◎事業概要（PLAN）

事業③	**事業名**	男女共同参画推進事業	**担当部署**	健康福祉部 人権推進課		
	実施方針	①第3次鳴門市男女行動計画に基づき、各種施策の着実な推進を図る。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画についての周知啓発を行う。	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				320	3,124	3,865
	事業内容（R5）	①第3次鳴門市男女行動計画に基づく各種施策の着実な推進を図り、PDCAサイクルによる進捗状況管理を行う。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画について、パンフレットや市公式ウェブサイト等を活用し周知啓発を行う。 ③審議会等における女性登用促進のため、鳴門市女性人材バンクへの登録者数の向上をめざす。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	鳴門市女性人材バンクの登録者数	11	15	20	25	30	人

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	320	0	320

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業③		
事業実施内容（R5）	①第3次鳴門市男女行動計画に基づく各種施策について実施状況を確認し、現状や課題の把握に努めた。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画の説明パンフレットを活用し、各種イベント等での配布を行い男女共同参画の周知啓発を行った。 ③鳴門市女性人材バンクへの登録者数向上をめざし、様々な機会を捉えて周知を行い登録者数の増加に努めた。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	鳴門市女性人材バンクの登録者数	15	22	25	30	35	人
	目標達成率(実績/目標)		110.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	令和6年度への繰越額
	計	206,192	0	119,550	119,550	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	206,192	0	119,550	119,550	0

◎評価（CHECK）

事業③	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市女性人材バンクの登録者数		成果指標に対する所見	公民館へのチラシ設置など、女性人材バンクの周知に努め登録者募集を行い、令和5年度は登録者数を7名増やすことができ、また、全ての登録分野において登録者を確保することができた。
	目標	20	人		
	実績	22	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業③		
課題	鳴門市男女共同参画推進条例の周知啓発や、鳴門市男女行動計画による施策を推進することで、性別的役割分担意識をなくし、地域生活や職場において性差なく活躍できる男女共同参画社会の実現をめざす必要がある。 特に、審議会等や管理職の女性登用率向上を推進することで、政策・方針決定等の場での女性の活躍を図る必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	第3次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。 第4次鳴門市男女行動計画の策定に向け、市民及び事業所を対象としたアンケート調査を行う。 女性人材バンクへの登録や活用について啓発を行い登録者数の向上を図るとともに、審議会等への女性登用率の増加を図る。
	令和7年度	第3次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。 令和6年度実施のアンケート調査の結果等をもとに、第4次鳴門市男女行動計画の策定を行う。 女性人材バンクへの登録や活用について啓発を行い登録者数の向上を図るとともに、審議会等への女性登用率の増加を図る。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	3	効率的・効果的な行財政運営の推進

めざす姿	予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努めます。 また、デジタル化をはじめとした行政改革に取り組むことで、効率的かつ効果的な行政運営を推進し、職員の能力と意欲の向上や、広報・広聴の充実を図るなど、組織体制の強化を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業①					
事業名	「鳴門市行財政改革計画～シン・スーパー改革プラン～」推進事業	担当部署	企画総務部　デジタル戦略課・財政課		
実施方針	①シン・スーパー改革プランの着実な遂行 ②デジタル技術の活用や新庁舎建設を契機とする「市民サービス改革」の推進 ③事務事業の抜本的な見直しとデジタル技術の活用による「行政改革」の推進	事業費推移（千円）	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			50	50	50
事業内容（R5）	①財政健全化に向けて収支不足を補う具体的取組を推進 ・シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目を推進し、取組効果額を確保。 ②デジタル技術を活用した市民サービスの充実 ・様々なデジタル技術を積極的に活用し、「いつでも、どこでも、誰にでも」をキーワードに時間や場所に制約のない行政手続を実現するためのシステム、体制を構築。 ③BPR（既存の組織構成から、業務内容や業務プロセスなどを抜本的に見直し、再構築を図る）の取組による業務改革の推進 ・各業務プロセスの見直し、業務の外部委託や事業の改廃など、多岐にわたる行政手法の見直しを推進し、業務の効率化及び生産性向上を図る。				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	普通会計基金残高	9,142	8,556	8,177	7,128	9,383	百万円

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	50	0	50

◎実施結果（DO）　　【実績ベース】

事業①		
事業実施内容（R5）	①「行かない窓口」機能として、住民票の写しや各種証明書等の交付をオンライン申請により自宅やオフィスで「どこでも」手続きができるよう、既存システムの機能拡充を行った。また、シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目を推進し、取組効果額の確保を図ることで、成果指標である普通会計基金残高について目標値以上の基金残高を達成した。 ②新庁舎移転後の本番稼働を目指し、窓口にて住民票の写し等を請求される方に記入いただいている申請書を廃止し、代わりに、職員がヒアリングを行い、入力した申請書にサインのみで受付可能とするサービス「書かない窓口」システムの構築や、市民向けフリーWi-Fiの構築を行った。 ③BPRの取り組みによる業務改革の推進として、各所属作成の業務手順書を分析し、コア・ノンコア割合や業務分野別の業務割合などの傾向把握を行い、全庁に共有するとともに、全庁共有業務の負担軽減・業務効率化を目的に、使用例の動画やマニュアルを作成することにより、既存システムの積極的な利活用を図った。	

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	普通会計基金残高	9,502	10,443	7,128	9,383	8,606	百万円
	目標達成率(実績/目標)		127.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度	令和4年度決算 ※令和3年度からの繰越額を含む	令和5年度決算			令和6年度への繰越額
			前年度からの繰越決算額	当年度決算額	決算額計	
	計	11,550	0	11,000	11,000	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	11,550	0	11,000	11,000	0

◎評価（CHECK）

事業①	今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	普通会計基金残高		成果指標に対する所見	シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目の推進により、取組効果額の確保を図ることで、目標値以上の普通会計基金残高を達成することができた。
	目標	8,177	百万円		
	実績	10,443	百万円		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業①		
課題		①財政健全化に向け収支不足を補うため、シン・スーパー改革プランに掲げる具体的取組項目を推進し取組効果額の確保を図ることで、目標値以上の普通会計基金残高を確保する必要がある。 ②シン・スーパー改革プランを着実に遂行するため、本市においても、便利で心地よいスマートシティを目指すべく、DX化を推進し、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、経費節減等による歳出抑制につなげていく必要がある。 ③BPRの取組による効率的かつ効果的な行政運営を推進するため、各業務プロセスの見直し、業務の外部委託や事業の改廃など、多岐にわたる行政手法の見直しについて検討を進める必要がある。
今後の方向性		☐ 1.廃止　☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和6年度	①目標値以上の普通会計基金残高達成に向け、引き続きシン・スーパー改革プランの着実な遂行により、取組効果額の確保を図る。 ②「シン・スーパー改革プラン」に基づき、様々なデジタル技術の活用にスピード感を持って取り組むことにより、市民の利便性向上や業務効率化を図っていく。また、予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努める。 ③令和5年度に実施した、コア・ノンコア割合や業務分野別の業務割合などの傾向把握に基づき、各業務プロセスの見直し及び、ノンコア業務の外部委託について検討を進める。
	令和7年度	①引き続きシン・スーパー改革プランの着実な遂行を図るとともに、臨時的なボートレース事業会計からの繰入金を財政調整基金等に活用することで、普通会計基金残高の確保を図る。 ②「シン・スーパー改革プラン」に基づき、様々なデジタル技術の活用にスピード感を持って取り組むことにより、市民の利便性向上や業務効率化を図っていく。また、予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努める。 ③各業務プロセスの見直し及び、ノンコア業務の外部委託など、業務の効率化及び生産性の向上に向けた検討を進める。

実施計画兼評価シート（令和5年度事業分）

【計画ベース】

◎基本情報

基本目標	6	みんなで創る自立したまちづくり
実施計画名	3	効率的・効果的な行財政運営の推進

めざす姿	予算編成の重点化や経費節減等による歳出抑制に取り組むなど、健全な財政運営に努め、自主財源の確保と財産の適正な管理に努めます。 また、デジタル化をはじめとした行政改革に取り組むことで、効率的かつ効果的な行政運営を推進し、職員の能力と意欲の向上や、広報・広聴の充実を図るなど、組織体制の強化を図ります。

◎事業概要（PLAN）

事業②	**事業名**	人材育成推進事業	**担当部署**	企画総務部 人事課		
	実施方針	①研修計画に基づく市主催職員研修の実施 ②県自治研修センター等への派遣研修の実施	**事業費推移（千円）**	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				12,513	12,513	12,513
	事業内容（R5）	①市主催職員研修 ・各職階に応じて求められるスキルを養う階層別研修 ・専門的知識を習得する職務別研修 ・公務員として習得すべき課題別研修 ②派遣研修の実施 ・県自治研修センター主催研修の活用 ・市町村・国際文化アカデミー、自治大学校等への派遣				

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和3年度実績	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
	受講者アンケートで研修内容が「役立つ」又は「やや役立つ」と回答した割合	96.3	93.5	95.0	95.0	95.0	%

◎事業費

令和5年度	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額
事業費推移（千円）	12,513	0	12,513

◎実施結果（DO）

【実績ベース】

事業②		
事業実施内容（R5）	第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づいた研修計画を策定し、接遇研修をはじめ、公務員倫理研修、デジタル化・DX研修等、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、県自治研修センターが実施する研修に多くの職員が参加した。また、県自治研修センターでの「集合研修」と、庁内での「オンライン研修」を併用することで、より効率的かつ効果的な研修体制の構築及び職場研修の充実を図るとともに、市町村アカデミー及び自治大学校等の外部研修機関が実施する研修へ職員を派遣し、専門的な知識の習得及び能力の向上を図った。	

成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標	令和8年度目標	単位
	受講者アンケートで研修内容が「役立つ」又は「やや役立つ」と回答した割合	92	93	95	95	95	%
	目標達成率(実績/目標)		97.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度	令和4年度決算（※令和3年度からの繰越額を含む）	令和5年度決算 前年度からの繰越決算額	令和5年度決算 当年度決算額	令和5年度決算 決算額計	令和6年度への繰越額
	計	9,650,478	0	9,598,383	9,598,383	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	392,076	0	799,880	799,880	0
	一般財源	9,258,402	0	8,798,503	8,798,503	0

◎評価（CHECK）

事業②	今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	受講者アンケートで研修内容が「役立つ」又は「やや役立つ」と回答した割合		成果指標に対する所見	概ね目標を達成することができたものの、より具体的に職員の研修ニーズを把握し、引き続き必要と思われる研修を効果的かつ効率的に実施していく必要がある。
	目標	95	%		
	実績	93	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

事業②		
課題	より市民満足度の高い行政サービスを提供するためには、専門的な知識の習得及び能力の向上を図ることが不可欠である。 また、外部研修機関への派遣については、知識の習得だけでなく、他の自治体職員との交流を通して得られるものも多いことから、研修への参加の意義やメリット等を積極的に周知するとともに、研修内容の充実や研修機会の提供に努めるなど、より一層効果的かつ効率的な内容の研修を計画し、実施していく必要がある。	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和6年度	第4次鳴門市『人財』育成基本方針に基づき研修計画を策定し、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、市町村アカデミー等の外部研修機関への職員派遣研修を行う。 また、研修内容の充実を図るとともに、職員が率先して研修を受講するよう各研修の意義及びメリット等の周知を行い、職員が研修で学んだことを業務に役立てることができるよう効果的かつ効率的な研修となるよう今後も検討していく。
	令和7年度	引き続き取り組みを継続する。